

**第3期白河市子ども子育て支援事業計画ニーズ調査・
子どもの生活実態調査・
ヤングケアラー実態調査報告書（概要）**

令和6年3月

白河市

目次

1. 調査概要.....	1
2. 保護者調査.....	2
2.1 子どもと子育て家庭の状況.....	2
2.2 保護者の就労状況.....	4
2.3 教育・保育サービス等の利用（就学前児童保護者のみ）.....	6
2.4 一時的な預かりや放課後の過ごし方.....	7
2.5 現在の暮らしの状況など.....	12
3. 子ども本人調査.....	16
3.1 通学や学校でのこと・勉強のことなど.....	16
3.2 放課後の過ごし方.....	20
3.3 今の気持ち・思っていることなど.....	21
3.4 家族の世話.....	24
4. 若年調査.....	29
4.1 回答者の状況.....	29
4.2 今の気持ちや状況.....	33

1. 調査概要

(1) 調査の目的

白河市では、「子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」の改定をはじめ市の子育て支援施策や子どもの育成支援の方向性を示す計画策定のため、子育て家庭の生活状況を把握するとともに、市の子育て支援施策等に対する保護者（就学前児童・小学生（1～3年）・小学5年生・中学2年生・高校生等）、子ども本人（小学5年生・中学2年生・高校生等）及び18～39歳の市民の意見・要望をうかがい、計画に反映させるため本調査を実施した。

(2) 調査対象と調査方法

対 象	調査方法
就学前児童保護者	郵送により配布・回収。
小学生（1～3年）保護者	郵送により配布・回収。
小学5年生保護者	学校配布・留め置き、または郵送により配布・回収。
中学2年生保護者	学校配布・留め置き、または郵送により配布・回収。
高校生等保護者	郵送により配布・回収。
小学5年生	学校配布・留め置き、または郵送により配布・回収。
中学2年生	学校配布・留め置き、または郵送により配布・回収。
高校生等	郵送により配布・回収。
若年（18～39歳の市民）	郵送により配布・回収。

小学5年生、中学2年生、高校生等は保護者と子ども本人それぞれに調査を依頼し、世帯で把握している。

(3) 調査期間

1) 保護者、子ども調査：令和6年3月1日～18日

2) 若年調査：令和6年3月15日～27日

(4) 回答状況

	就学前児童保護者	小学生保護者	小学5年生保護者	中学2年生保護者	高校生等保護者	小学5年生	中学2年生	高校生等	若年
配布数	1,500件	500件	453件	505件	500件	453件	505件	500件	1,000件
回答数	714件	239件	363件	417件	186件	363件	417件	186件	193件
回答率	47.6%	47.8%	80.1%	82.6%	37.2%	80.1%	82.6%	37.2%	19.3%

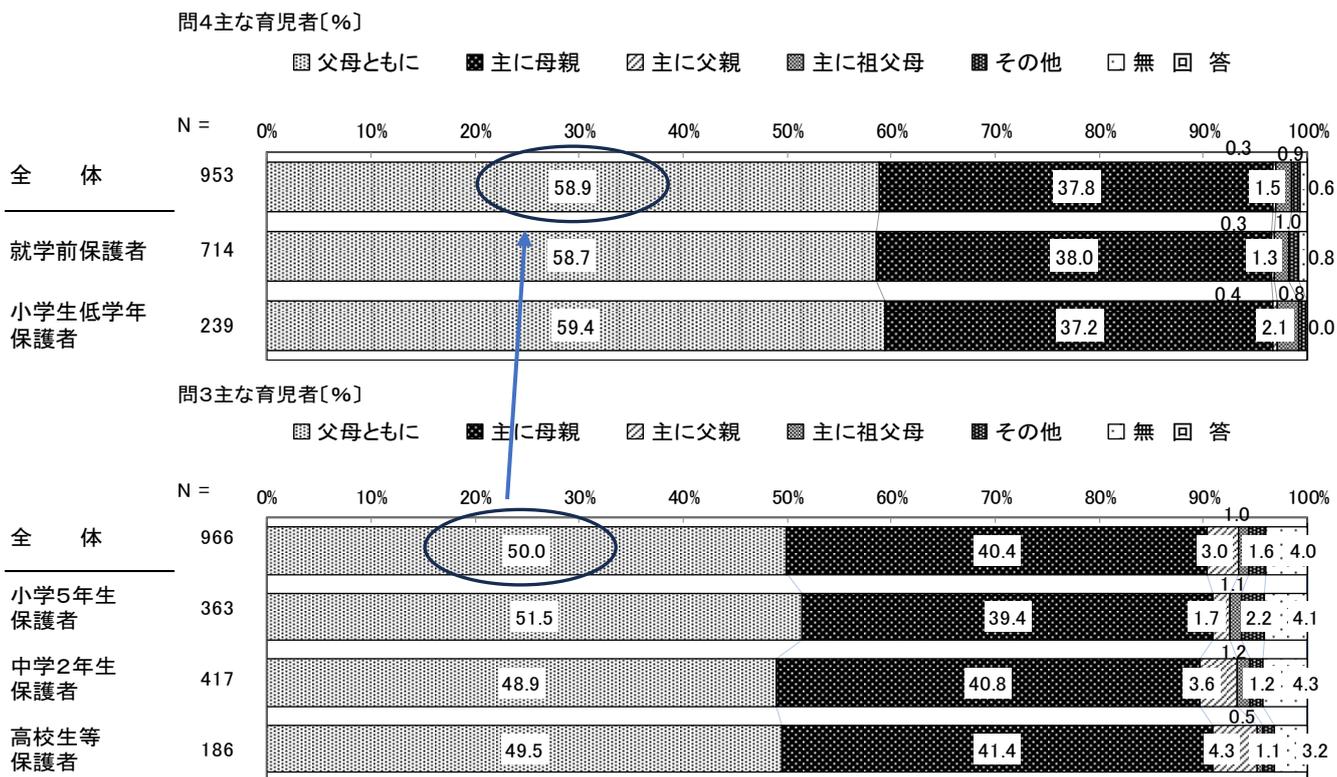
2. 保護者調査

2.1 子どもと子育て家庭の状況

問 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。

就学前児童・小学生保護者全体では、「父母ともに」が 58.9%と半数を超え、「主に母親」が 37.8%である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「父母ともに」が 50.0%、「主に母親」が 40.4%である。

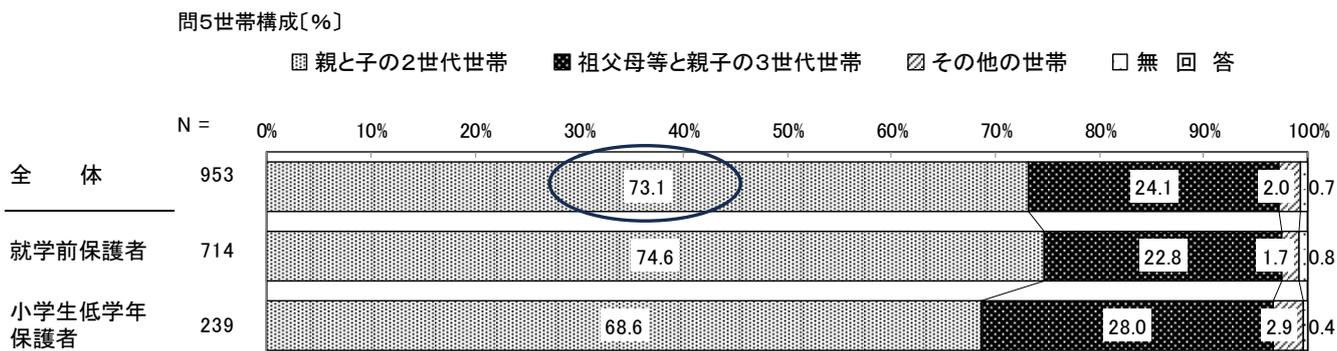


問 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

就学前児童・小学生保護者全体では、世帯構成は、「親と子の2世代世帯」が 73.1%、「祖父母等と親子の3世代世帯」が 24.1%となっている。

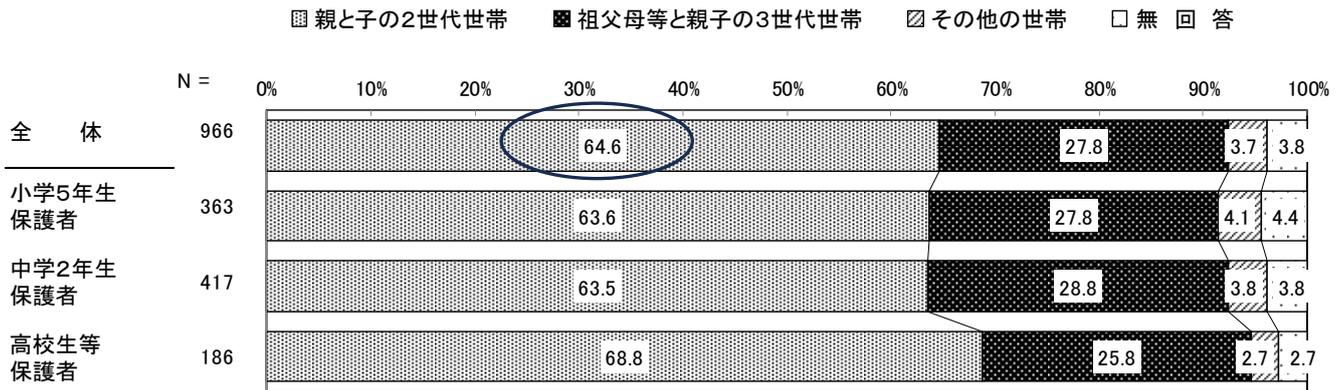
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、世帯構成は、「親と子の2世代世帯」が 64.6%、「祖父母等と親子の3世代世帯」が 27.8%となっている。

【就学前児童・小学生保護者】



【小学5年生・中学2年生・高校生等保護者】

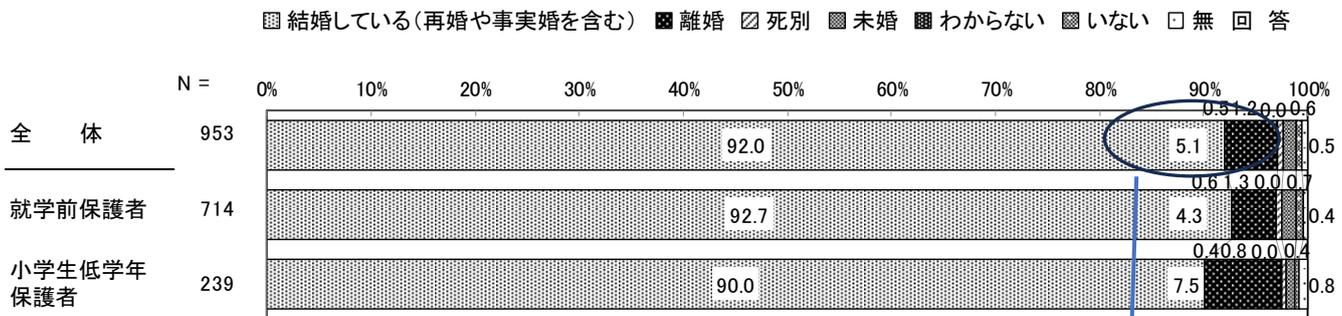
問4世帯構成[%]



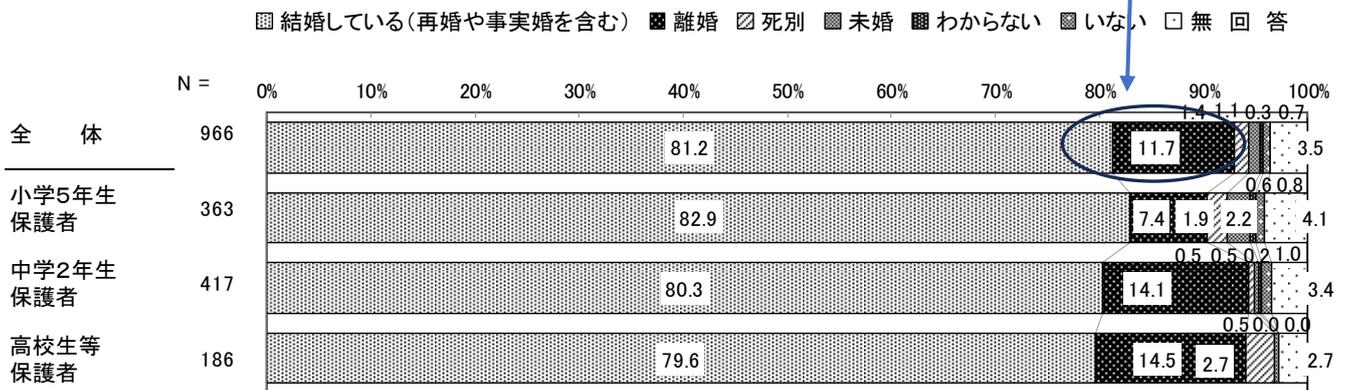
問 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

全体では「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が多くを占めているが、「離婚」は就学前児童・小学生保護者では5.1%、小学5年生・中学2年生・高校生等保護者で11.7%みられる。

問6親の婚姻状況[%]



問5親の婚姻状況[%]

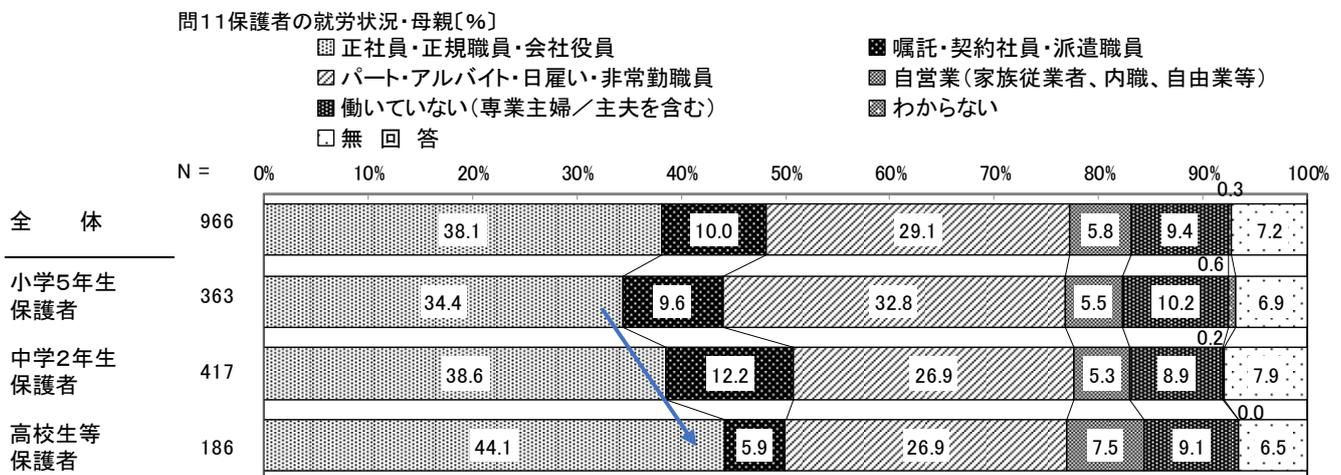
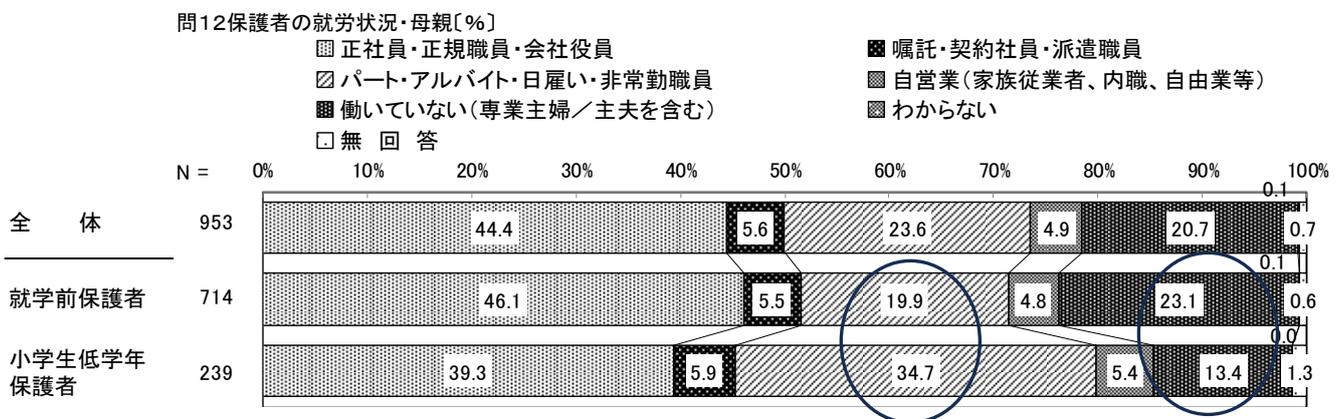


2.2 保護者の就労状況

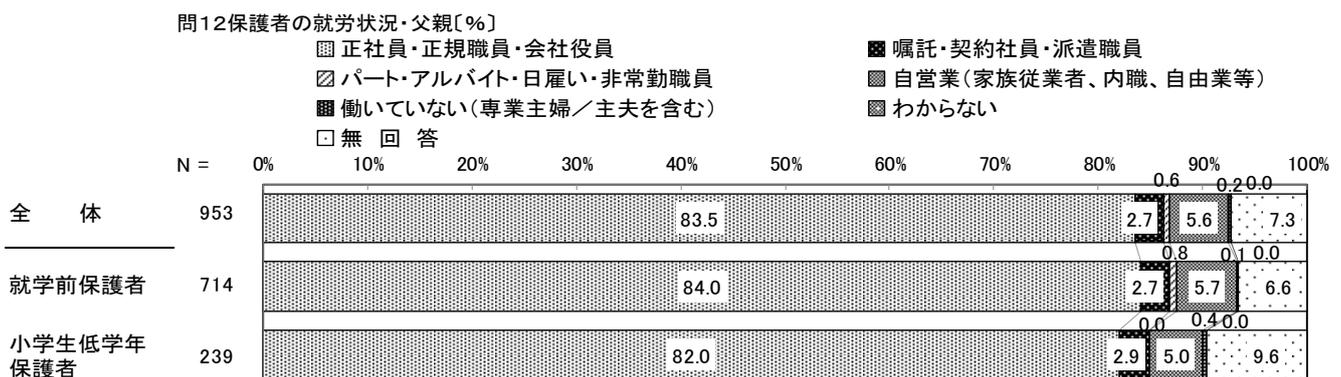
問 保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

母親は、就学前児童・小学生保護者全体で「正社員・正規職員・会社役員」が 44.4%と多く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 23.6%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 20.7%である。就学前児童保護者は「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 23.1%と小学生保護者の 13.4%より多く、小学生保護者は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 34.7%と多くなっている。

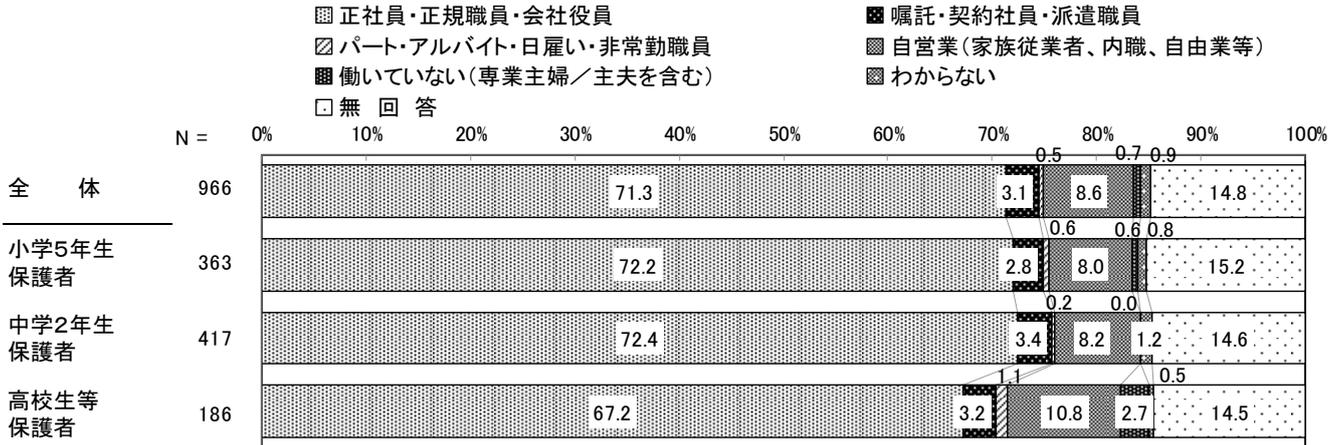
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「正社員・正規職員・会社役員」が 38.1%と多く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 29.1%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が 10.0%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 9.4%である。年代が上がると「正社員・正規職員・会社役員」が多くなっている。



父親は、「正社員・正規職員・会社役員」が多くを占めているが、小学5年生・中学2年生・高校生等の父親では「自営業（家族従業者、内職、自由業等）」と「無回答」が増えている。



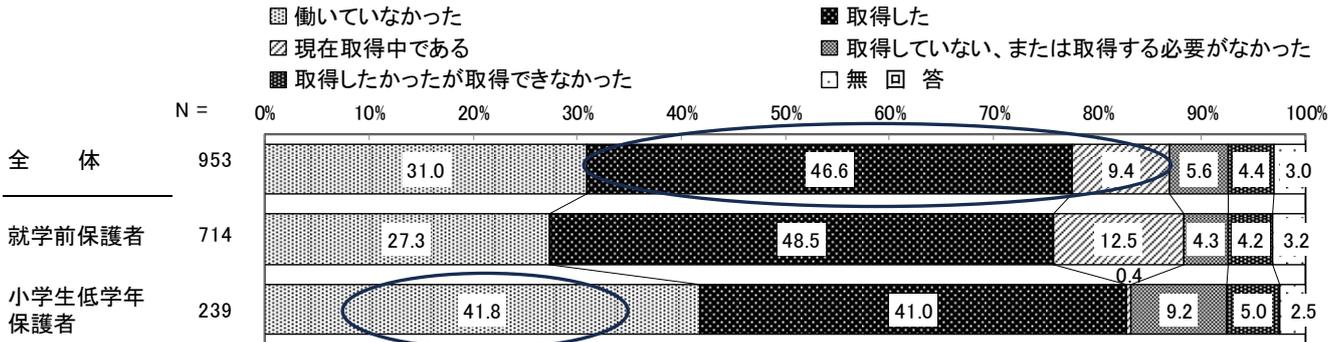
問11保護者の就労状況・父親[%]



問 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(就学前児童・小学生保護者のみ)

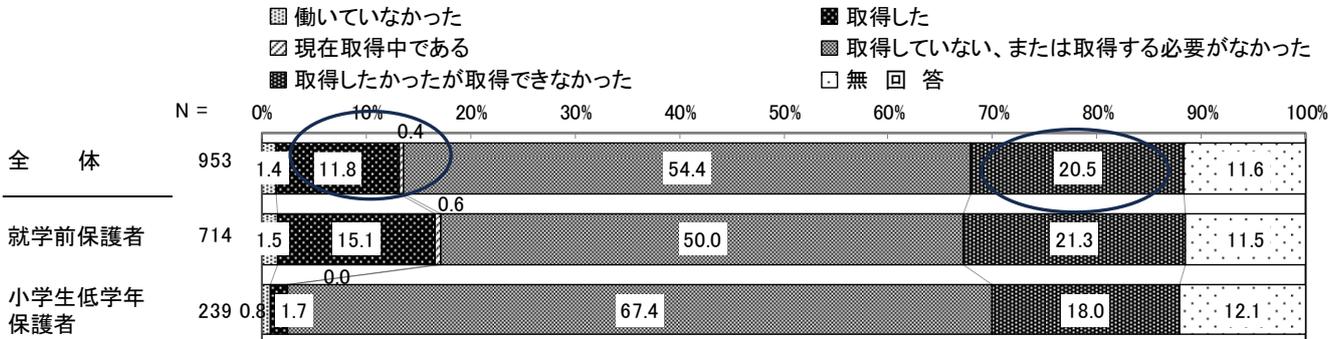
母親は、全体では『取得した』（「取得した」と「現在取得中である」の合計）が 56.0%と多く、「働いていなかった」が 31.0%、「取得していない、または取得する必要がなかった」と「取得したかったが取得できなかった」がそれぞれ 5%前後である。小学生保護者は「働いていなかった」が 41.8%と多くなっている。

問15育児休業の取得・母親[%]



父親は、全体では「取得していない、または取得する必要がなかった」が 54.4%と半数を占め、「取得したかったが取得できなかった」が 20.5%、『取得した』（「取得した」と「現在取得中である」の合計）は 12.2%である。

問15育児休業の取得・父親[%]



2.3 教育・保育サービス等の利用(就学前児童保護者のみ)

問 ①現在の利用状況と②今後の利用希望について、お答えください。

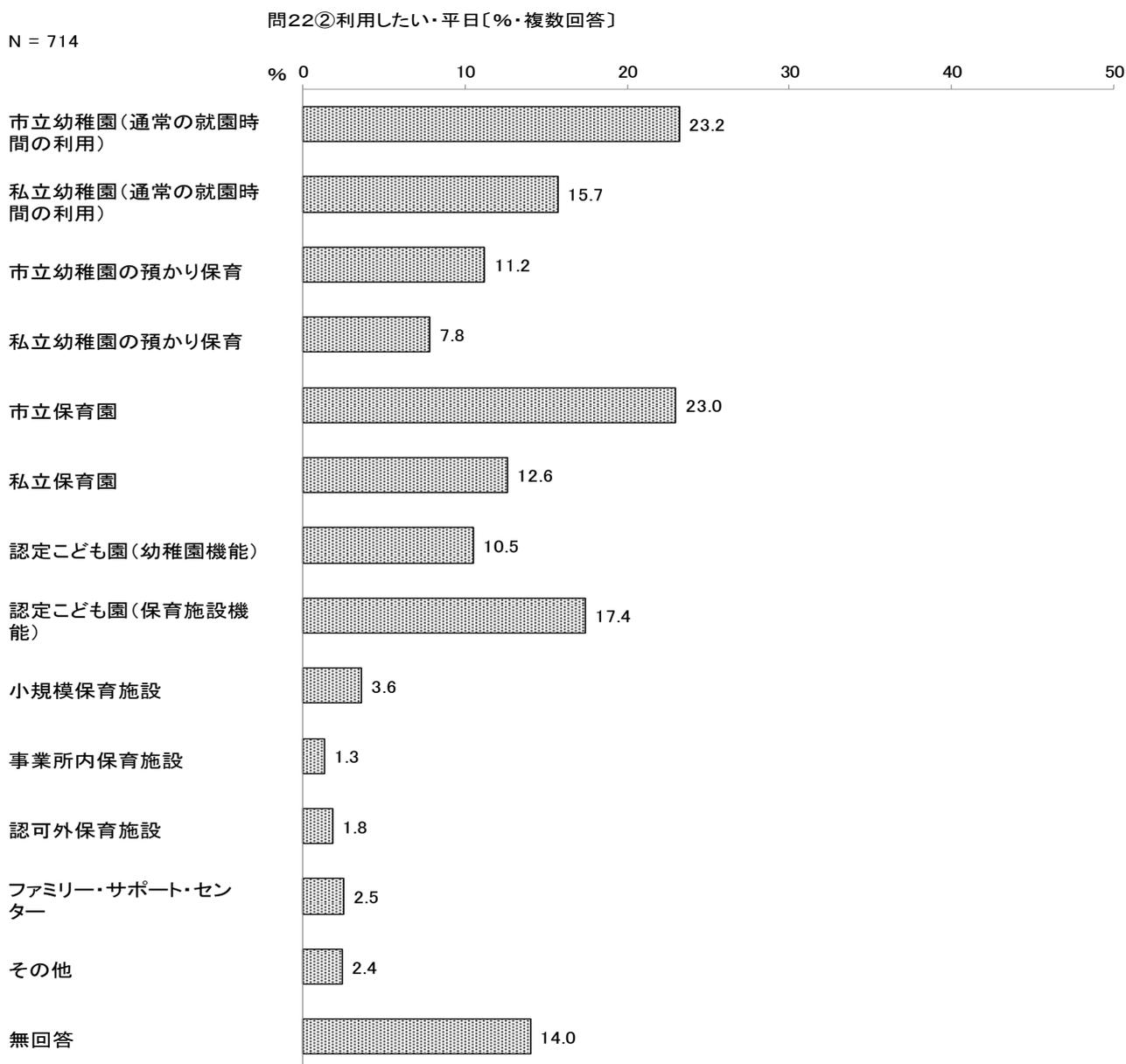
1)現在の利用状況

全体では、「市立保育園」が 4.9%、「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 4.8%、「ファミリー・サポート・センター」が 3.4%で「いずれも利用しない」が 50.4%である。

2)今後の利用希望

①平日

全体では、「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 23.2%、「市立保育園」が 23.0%、「認定こども園（保育施設機能）」が 17.4%、「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 15.7%、「私立保育園」が 12.6%、「市立幼稚園の預かり保育」が 11.2%、「認定こども園（幼稚園機能）」が 10.5%である。



問 利用にあたって要望・改善してほしいところがあればお書き下さい。

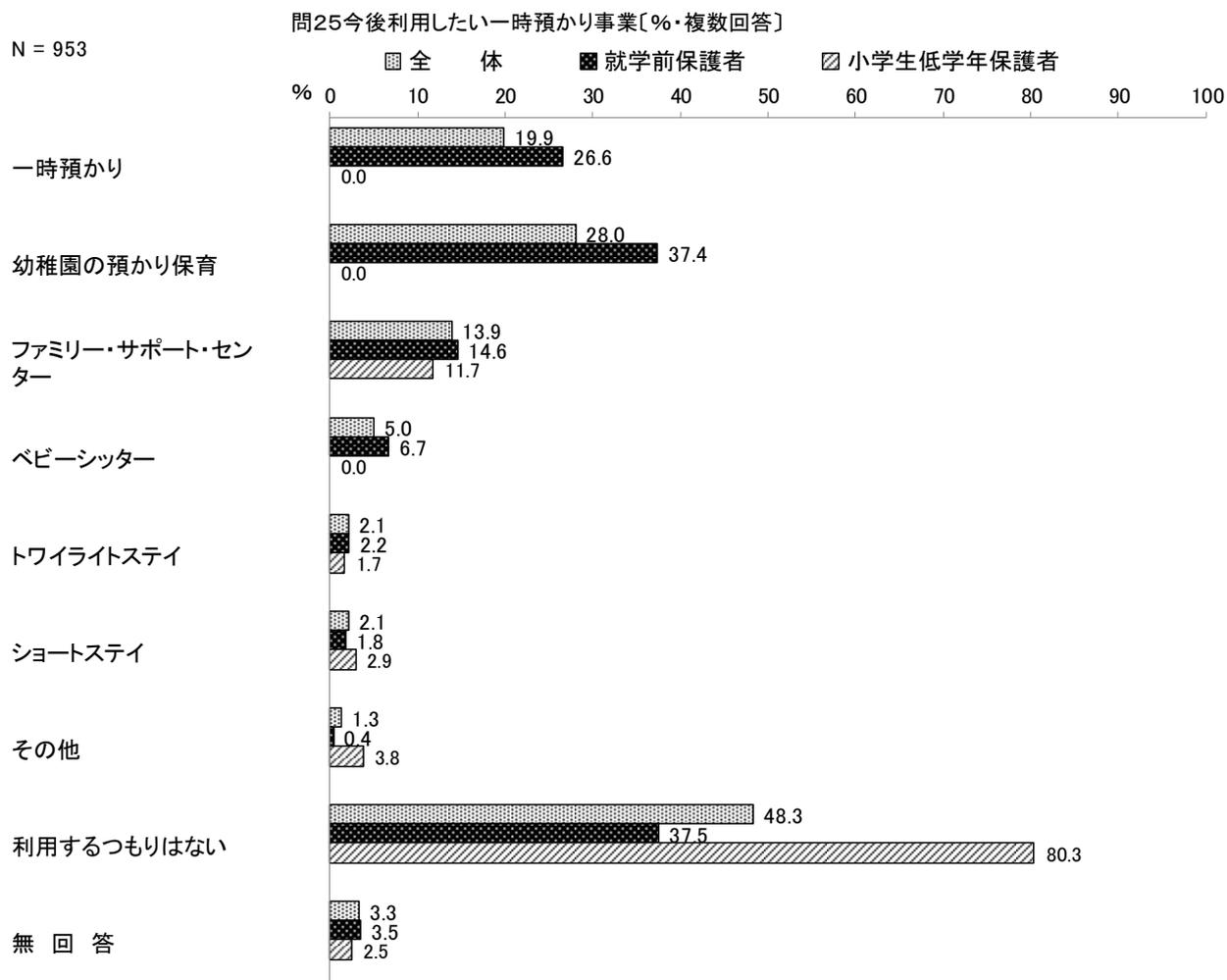
「記入あり」が 24.5%である。内容としては、「理由を問わない預かりの希望」、「預かり保育時間・期間の延長」、「保育料の低減」などの意見がみられる。

2.4 一時的な預かりや放課後の過ごし方

(1) 一時預かり事業

問 今後利用したい一時預かり事業（就学前児童保護者のみ）、「不定期に」利用したい事業（小学生保護者のみ）はありますか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「幼稚園の預かり保育」が 28.0%、「一時預かり」が 19.9%、「ファミリー・サポート・センター」が 13.9%みられる。

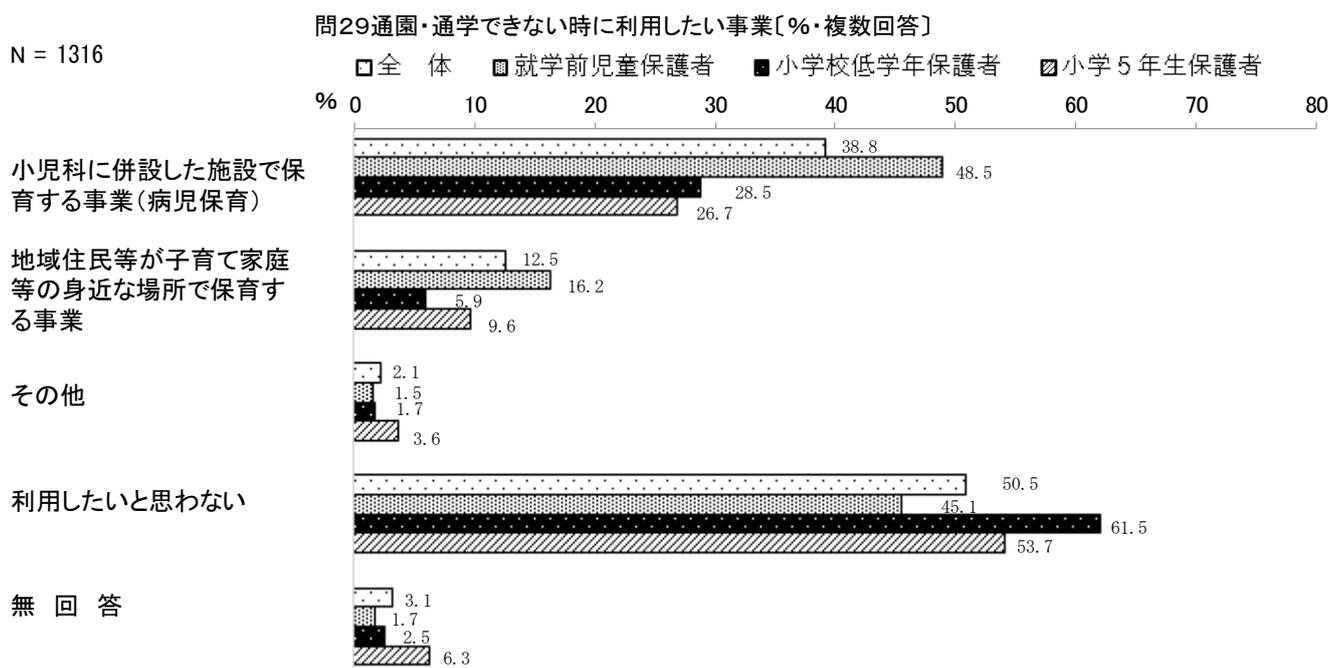


(2)子どもの病気の際の対応(就学前児童・小学生・小学5年生保護者のみ)

問 お子さんが病気やけが(で通園できない※就学前児童保護者のみ)をした場合に、どのような事業を利用したいと思いますか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「利用したいと思わない」が49.2%と多く、「小児科に併設した施設で保育する事業(病児保育)」が43.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が13.6%である。小学生保護者は「利用したいと思わない」が61.5%と多くなっている。

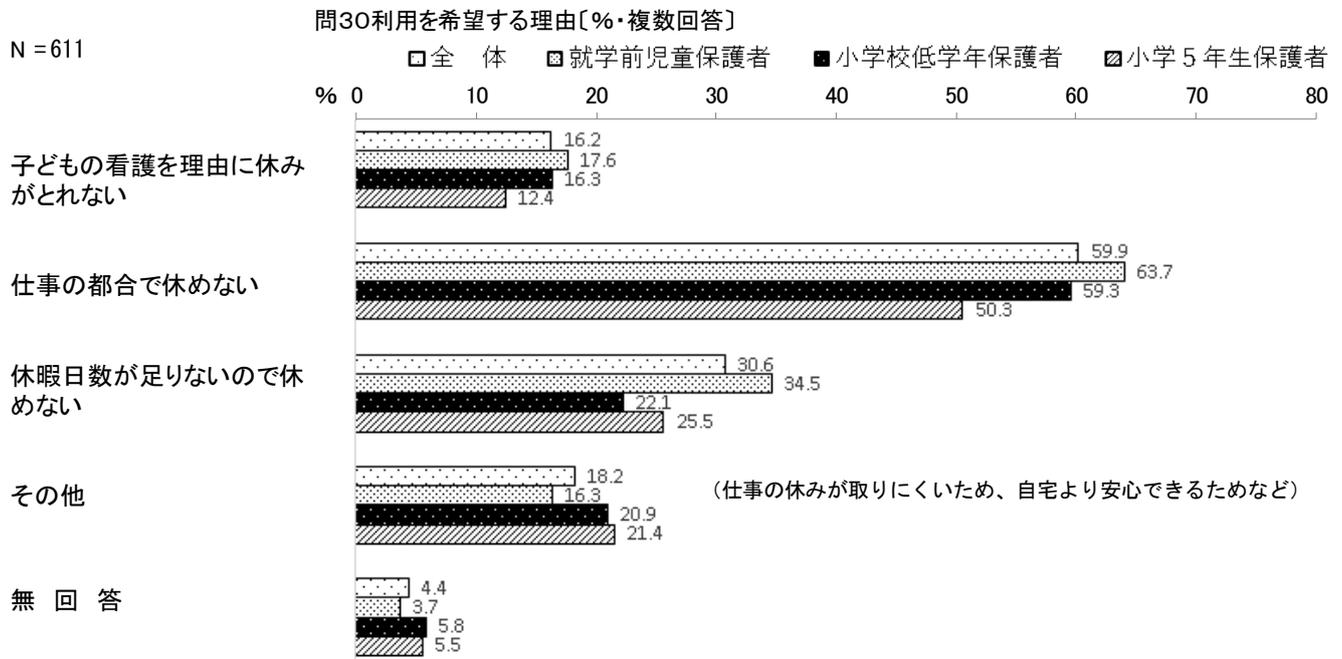
小学5年生保護者は、「利用したいと思わない」が53.7%と多く、「小児科に併設した施設で保育する事業(病児保育)」が26.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が9.6%となっている。



問 前問で「小児科に併設した施設で保育する事業（病児保育）」、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」、「その他」を選んだ場合、事業の利用を希望する理由は何ですか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「仕事の都合で休めない」が 62.9%と多く、「休假日数が足りないので休めない」が 32.2%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 17.4%である。

小学5年生保護者は、「仕事の都合で休めない」が 50.3%、「休假日数が足りないので休めない」が 25.5%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 12.4%である。



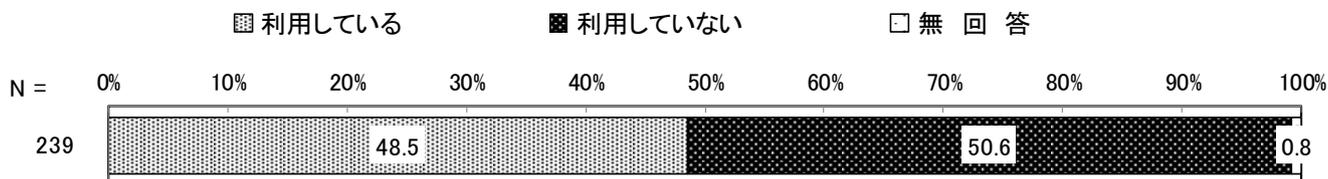
(3)放課後の過ごし方

問 現在、放課後児童クラブを利用していますか。(小学校低学年保護者のみ)

「利用していない」が50.6%、「利用している」が48.5%と同程度である。

家族構成別では、祖父母等と親子の3世代世帯で「利用している」が38.8%となっている。

問22小学生・放課後児童クラブの利用[%]

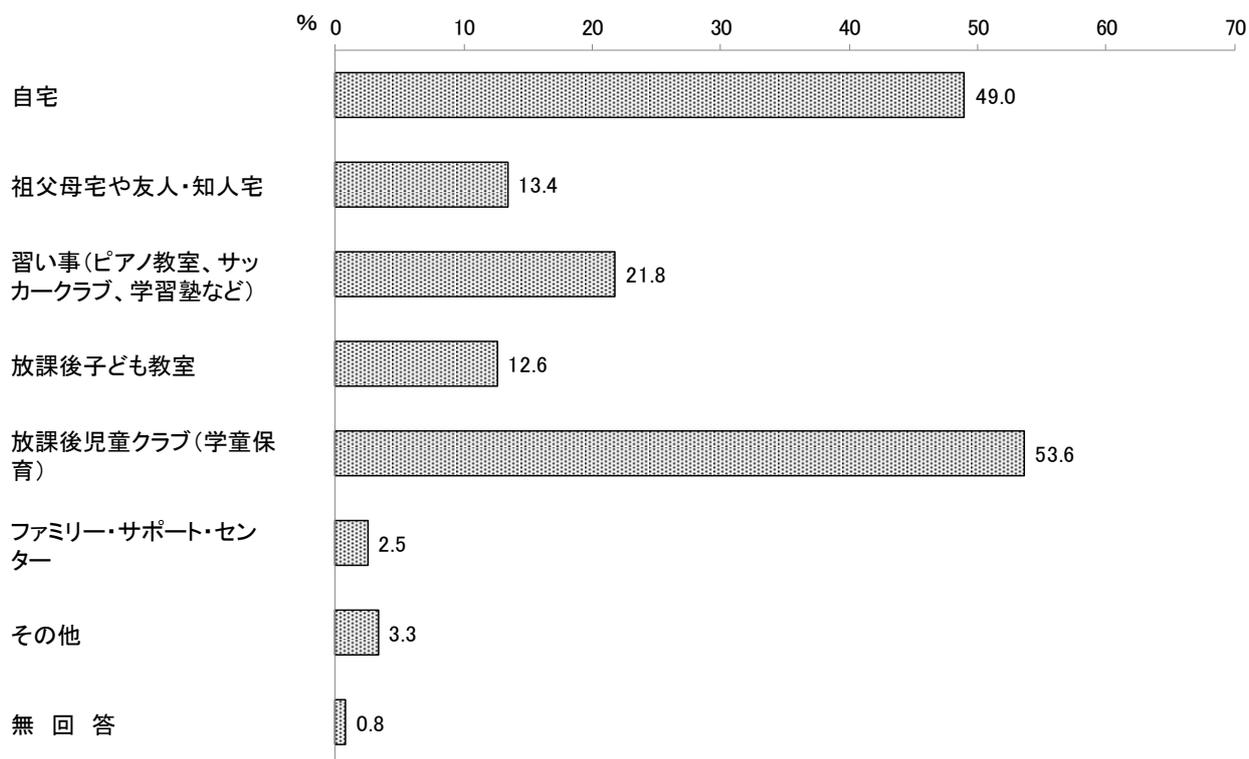


問 お子さんの放課後の過ごし方で、小学校低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）では、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

1)小学校低学年

こどもが低学年のときに放課後過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ（学童保育）」が53.6%、「自宅」が49.0%と多い。

問32小学生・低学年で放課後過ごさせたい場所[%・複数回答]
N = 239

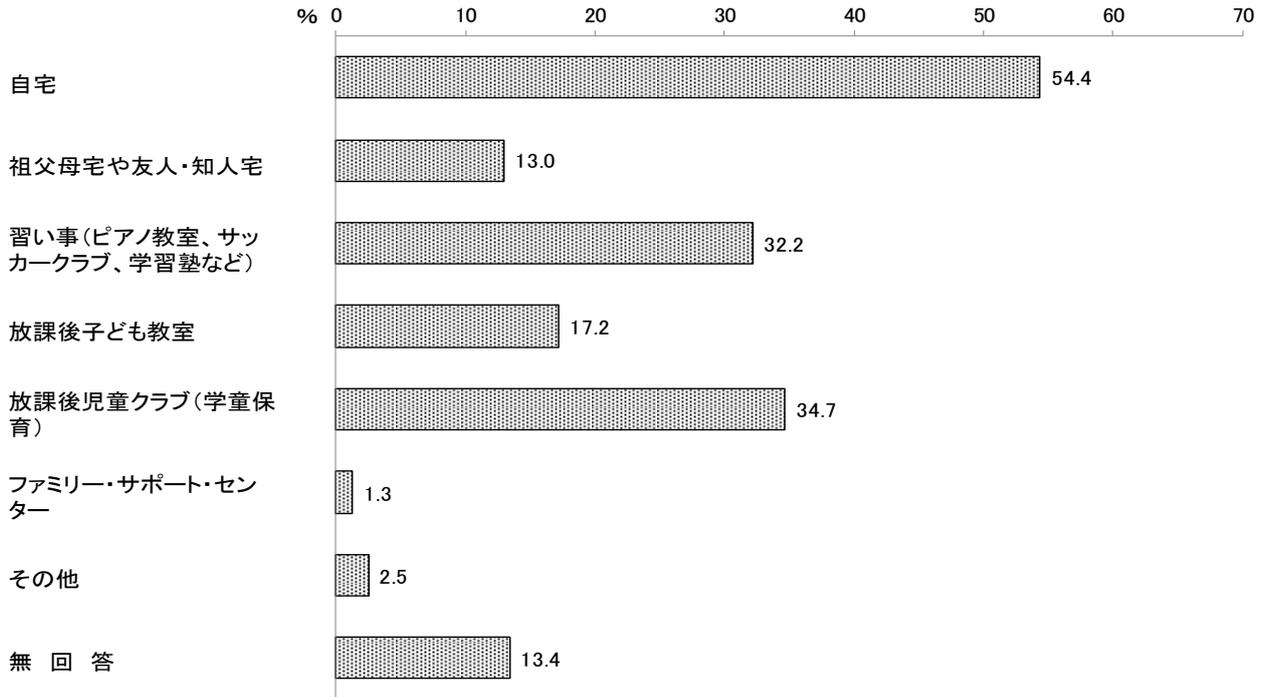


2)小学校高学年

こどもが高学年になったときに放課後過ごさせたい場所は、「自宅」が54.4%と半数を超え、「放課後児童クラブ（学童保育）」が34.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が32.2%、「放課後子ども教室」が17.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が13.0%である。

N = 239

問32小学生・高学年で放課後過ごさせたい場所〔%・複数回答〕

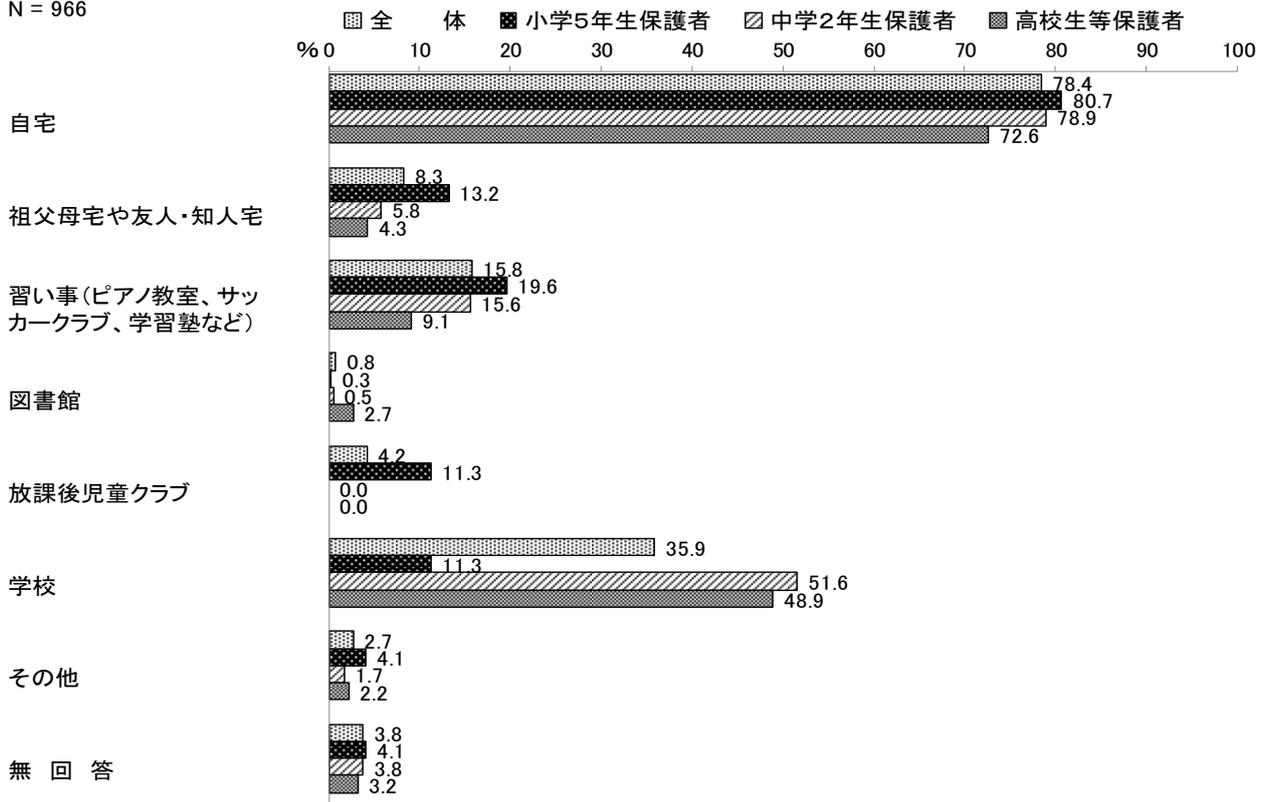


問 お子さんは放課後どこで過ごすことが多いですか。(小学5年生・中学2年生・高校生等保護者のみ)

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「自宅」が78.4%と多く、「学校」が35.9%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が15.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が8.3%である。中学2年生・高校生等保護者は、「学校」が50%前後と多くなっている。

N = 966

問16放課後過ごすことが多い場所〔%・複数回答〕



2.5 現在の暮らしの状況など

(1)現在の暮らしの状況等

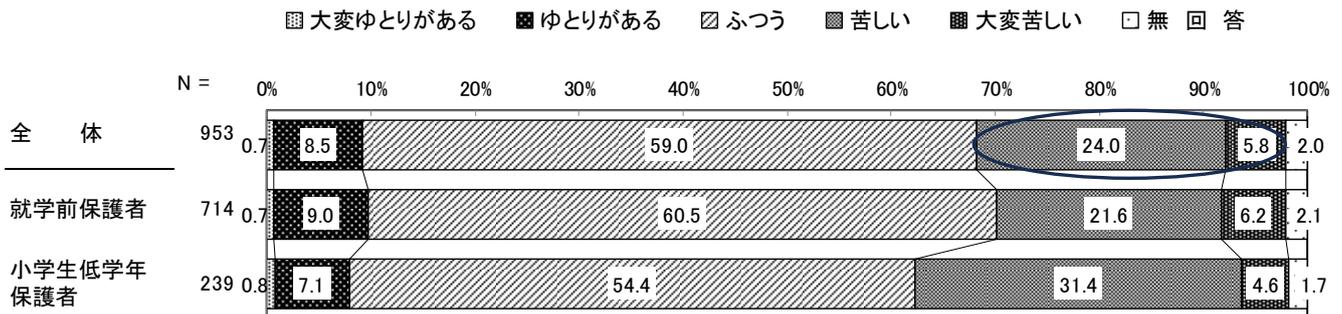
問 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「ふつう」が 59.0%、『苦しい』（「苦しい」と「大変苦しい」の計）が 29.8%で、小学生保護者は『苦しい』が 36.0%と就学前児童保護者より多い。

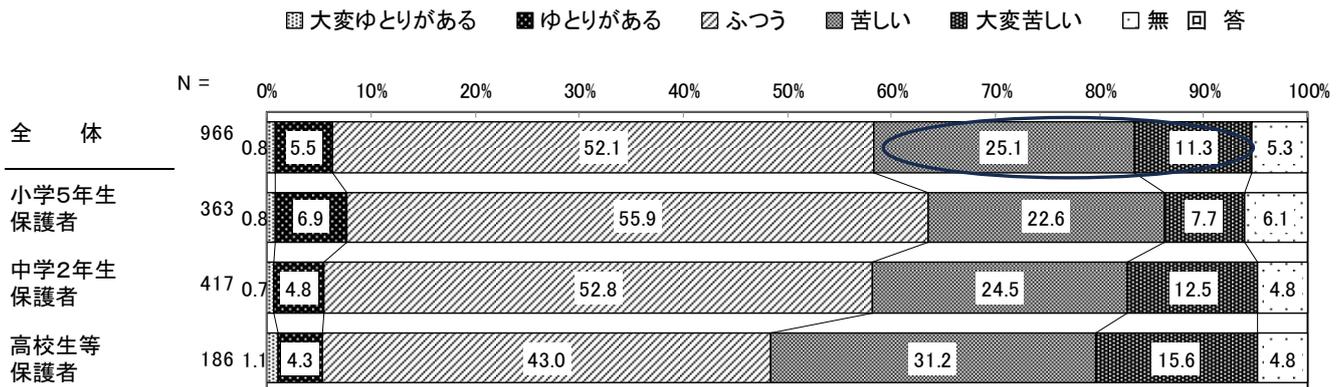
小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「ふつう」が 52.1%と多く、『苦しい』が 36.4%、年代が上がると『苦しい』が多くなっている。

家計逼迫リスクのある回答者は、『苦しい』が 78.4%となっている。

問39現在の暮らしの状況[%]



問23現在の暮らしの状況[%]

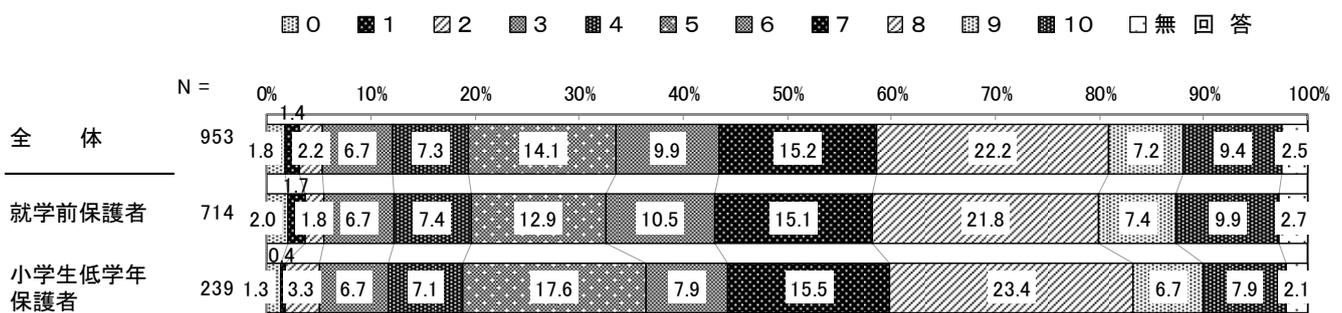


問 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

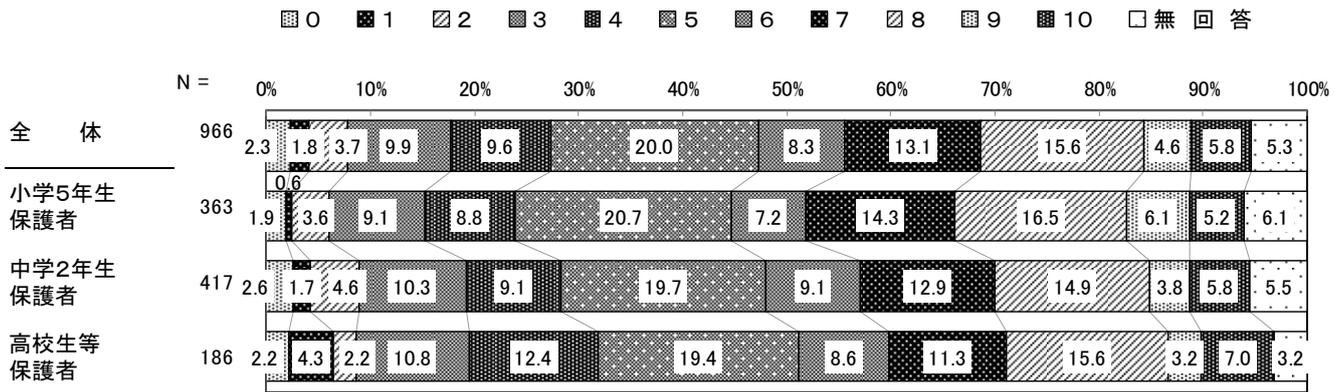
就学前児童・小学生保護者全体では、「6」～「10」が 63.9%、「0」～「5」が 33.5%で、「8」が 22.2%、「5」と「7」が 15%前後である。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「6」～「10」が 47.4%、「0」～「5」が 47.3%で、「5」が 20.0%、「7」と「8」が 15%前後となっている。

問46最近の生活の満足度[%]



問31最近の生活の満足度[%]



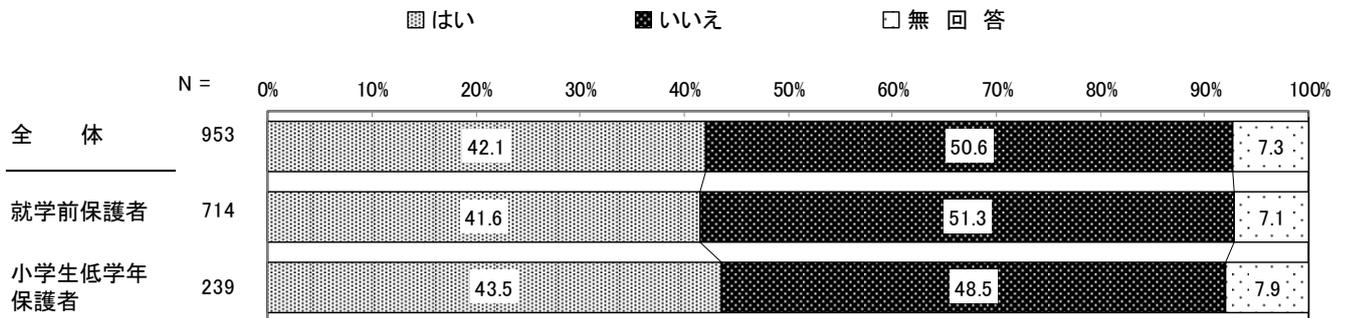
問 お子さんにも白河市に住んでほしいと思いますか。

就学前児童・小学生保護者全体では、「いいえ」が 50.6%、「はい」が 42.1%となっている。子どもに住んでほしいと思わない理由は、「好きなところに住んでほしいため」、「広い視野を持つため、出た方が良く思うため」などの意見がみられる。

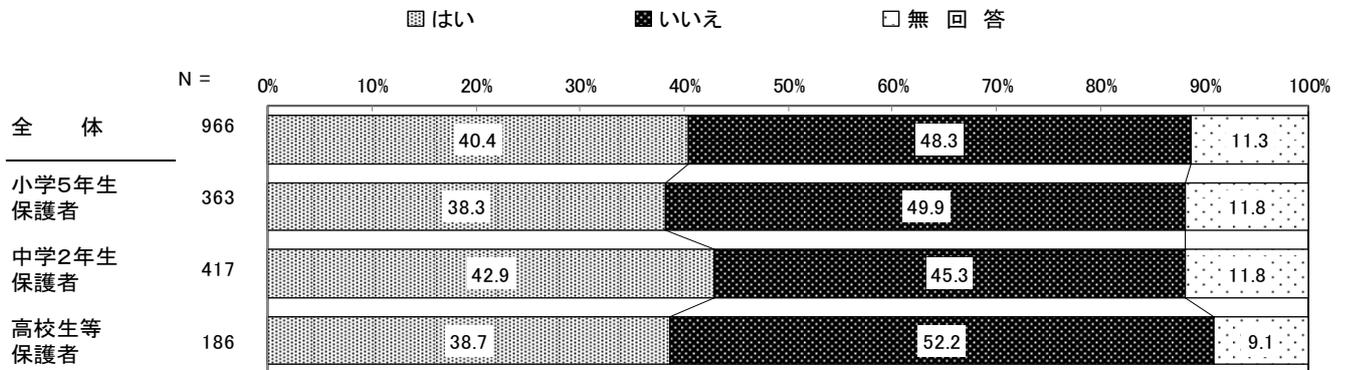
所得別では、低所得世帯で「はい」が 61.5%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「いいえ」が 48.3%、「はい」が 40.4%となっている。子どもに住んでほしいと思わない理由は、「好きなところに住んでほしいため」、「不便で住みにくいため」などの意見がみられる。

問53子どもに白河市に住んでほしいと思う[%]



問38子どもに白河市に住んでほしいと思う[%]

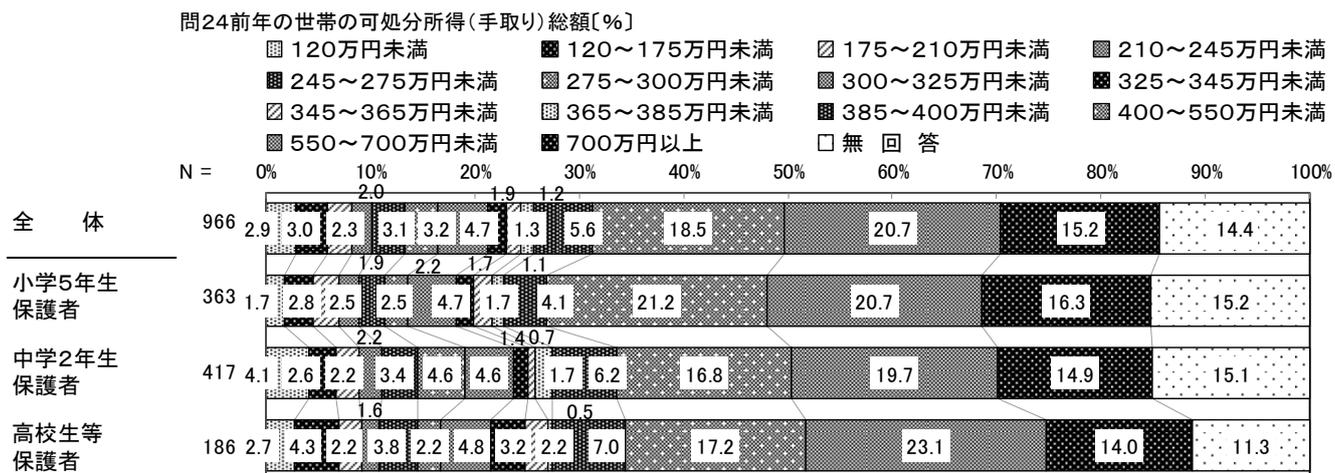
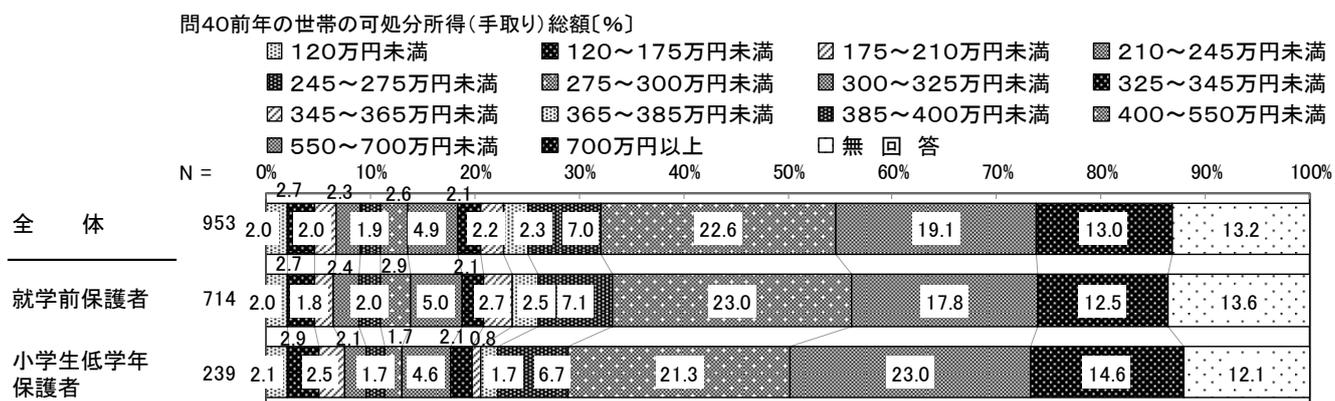


(2)世帯の所得・生活困難状況等

問 令和5年（2023年1月～12月）のあなたの世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。就労による所得（会社員の方等は住民税を引く）に加え、児童手当・児童扶養手当等・雇用保険等の支給額や、親族等からの仕送り等を足した金額でお答えください。

就学前児童・小学生保護者全体では、「400～550万円未満」が22.6%、「550～700万円未満」が19.1%、「700万円以上」が13.0%となっている。

小学5年生・中学2年生・高校生等保護者全体では、「400～550万円未満」が18.5%、「550～700万円未満」が20.7%、「700万円以上」が15.2%となっている。



補足説明

本調査では、保護者と子どもの回答のうち、小学5年生・中学2年生・高校生等に該当するものから、世帯の可処分所得と世帯人数による分布により所得状況を把握するとともに、家計の逼迫リスクを集計した。また、家計の逼迫リスクと子どもの体験や所有物を把握することで、生活困窮のリスクを集計した。

【生活状況の分類について】

表1に示す①②③の要素から、生活状況として所得のみでは把握しきれない「困窮」の度合いが把握できるよう、次の3通りに分類した。

2つ以上の要素に該当 = **困窮家庭**

1つの要素に該当 = **周辺家庭**

該当なし = **その他の世帯**（無回答等により分類できない世帯を含む。）

〔表1〕

①低所得	世帯の可処分所得(収入による可処分所得+児童手当等の支給額等)と世帯人数から、低所得のリスクを区分。国民生活基礎調査の困窮の区分を参考にしているが、可処分所得の把握方法が異なる箇所があり、厚生労働省発表の子どもの貧困率と比較できるものではない。(参考:2人世帯175万円未満、3人世帯210万円未満、4人世帯245万円未満、5人世帯275万円未満等)
②家計の逼迫	5項目(電気・ガス・水道の公共料金、食料・衣類の購入)について、経済的な理由で払えなかった、または買えなかったことが1つ以上ある場合
③子どもの体験や所有物の欠如	子どもの体験や所有物など8項目(博物館等に行く、スポーツ観戦等に行く、キャンプ等に行く、海水浴に行く、遊園地等に行く、子どもの年齢に合った本、子ども用のスポーツ用品・おもちゃ、自宅で宿題ができる場所)のうち、経済的な理由でしていない、ないなどで欠如する項目が2つ以上ある場合

相対的貧困率に相当する「低所得に該当する世帯(表1①に該当する世帯のこと)」は8.8%と少ないが、表1②③の要素に該当する「困窮家庭」と「周辺家庭」を集計したところ、その割合を合わせると23.4%となっている。

〔表2〕

所得[%]		
全 体	低所得に該当する世帯	低所得世帯には該当しない世帯
966	85	881
100.0	8.8	91.2

〔表3〕

生活困窮状況[%]			
全 体	困窮家庭	周辺家庭	その他の家庭
966	59	167	740
100.0	6.1	17.3	76.6

前述の「現在の生活状況」について、生活状況別でみると、①低所得に該当する世帯や②家計逼迫リスクのある世帯で、『苦しい』が多くなっており、また、子育てで大変なこと等についての項目では①低所得に該当する世帯で「生活費の確保」が59.0%、「相談相手・相談先がない」が20.5%と多く回答されている。あわせて、現在の生活の満足度についても、②家計逼迫リスクのある世帯は、「0」～「5」が68.6%と多く回答されている。一方、子どもの回答を見ると、進学希望の項目では、困窮家庭の子どもでは「高校」が33.9%と多く、低所得に該当する世帯の子どもが「大学」と回答する割合が27.1%と少なくなっている。また、「がんばればよいことがある」や「自分は価値のある人間だ」「自分のことが好きだ」等の自己肯定感に関する設問について、困窮家庭の子どもで「そう思わない」が多く回答されており、世帯状況が生活の様々な面や子どもの気持ちや考えにも影響していることが伺える。

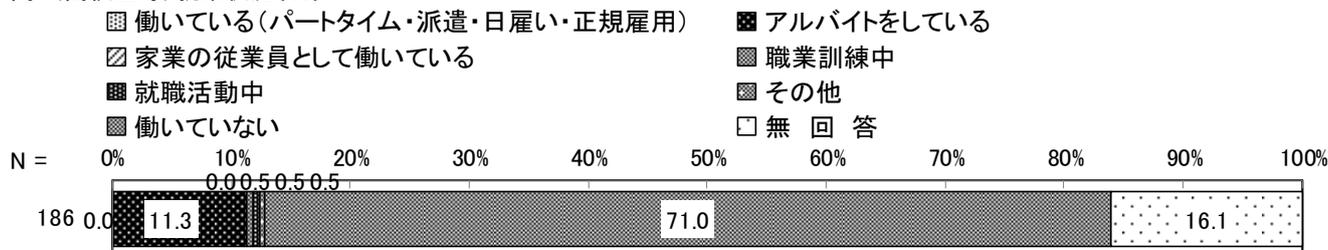
3. 子ども本人調査

3.1 通学や学校でのこと・勉強のことなど

問 あなたは、現在働いていますか。(高校生等のみ)

「働いていない」が71.0%、「アルバイトをしている」が11.3%である。
生活困窮別では、困窮家庭で「アルバイトをしている」が30.8%となっている。

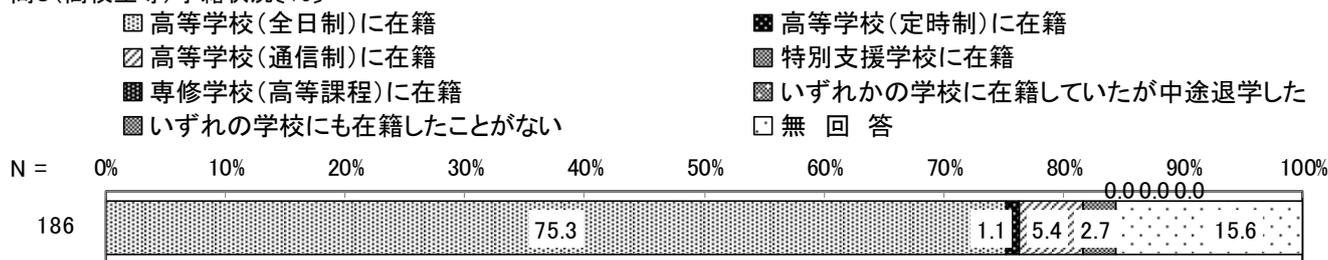
問4(高校生等)就業状況[%]



問 あなたは、現在学校に在籍していますか。(高校生等のみ)

「高等学校(全日制)に在籍」が75.3%となっている。

問5(高校生等)学籍状況[%]

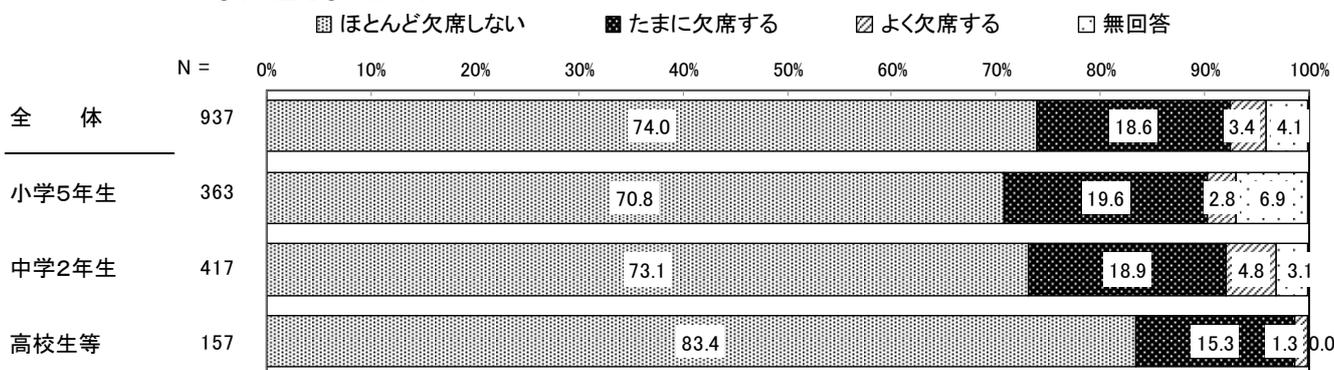


問 学校に在籍している人にお聞きします。学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。

①欠席について

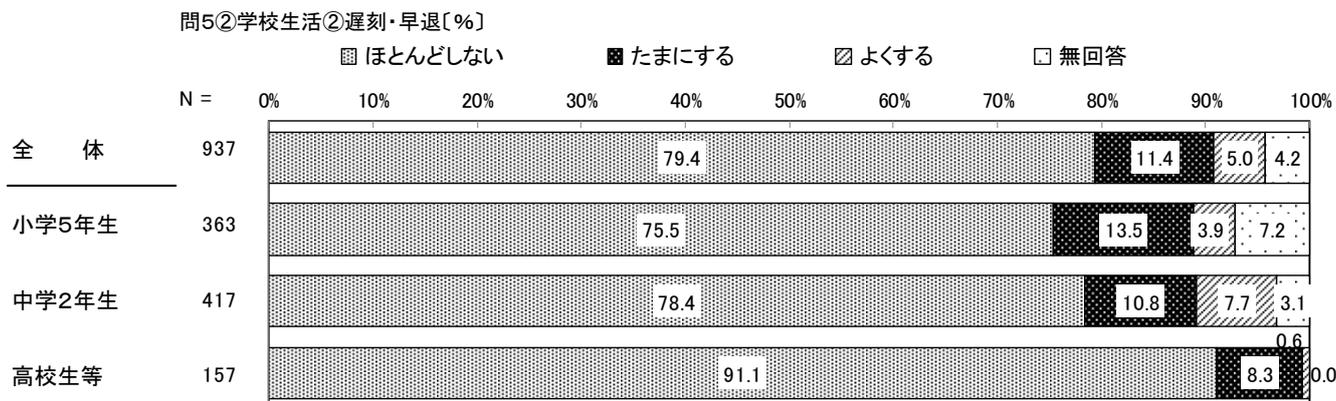
全体では、「ほとんど欠席しない」が74.0%で、「たまに欠席する」が18.6%、「よく欠席する」は3.4%である。高校生等は「ほとんど欠席しない」が80%を超えている。

問5①学校生活①欠席[%]



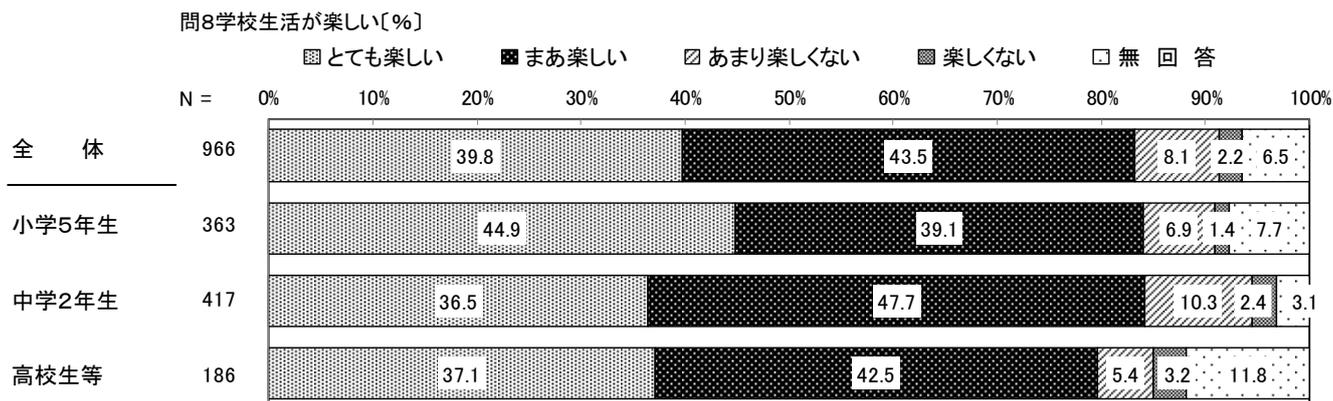
②遅刻や早退について

全体では、「ほとんどしない」が79.4%、「たまにする」が11.4%、「よくする」は5.0%である。
高校生等は「ほとんどしない」が90%を超えている。



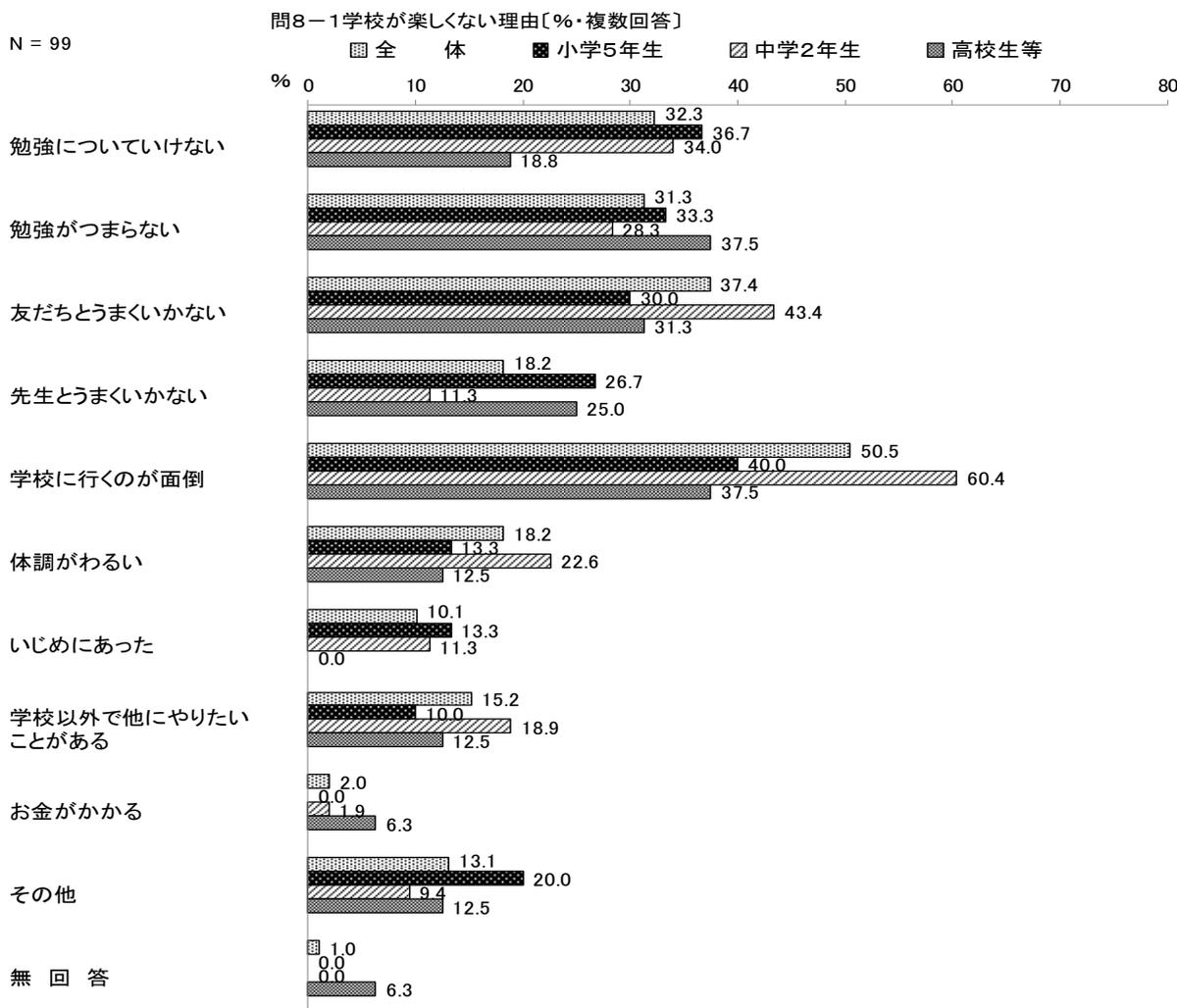
問 あなたは、学校生活が楽しいですか。

全体では、『楽しい』（「とても楽しい」と「まあ楽しい」の計）が83.3%となっているが、小学生より中高生は「とても楽しい」が少ない。



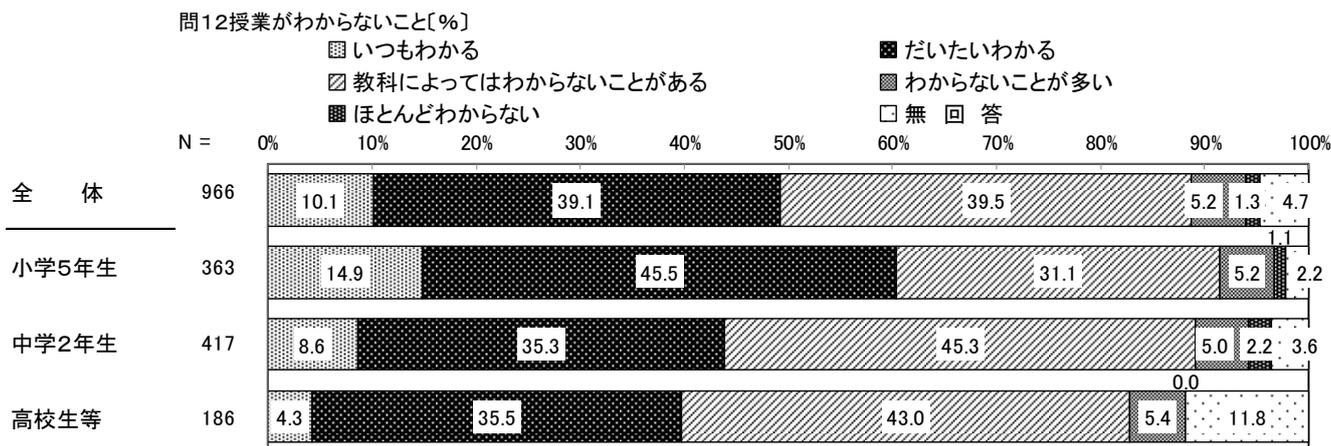
問 前問で「あまり楽しくない」、「楽しくない」と答えた人にお聞きします。学校が楽しくない理由は、何ですか。

全体では、「学校に行くのが面倒」が50.5%と多く、「友だちとうまくいかない」が37.4%、「勉強についていけない」と「勉強がつまらない」が32%前後となっている。



問 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

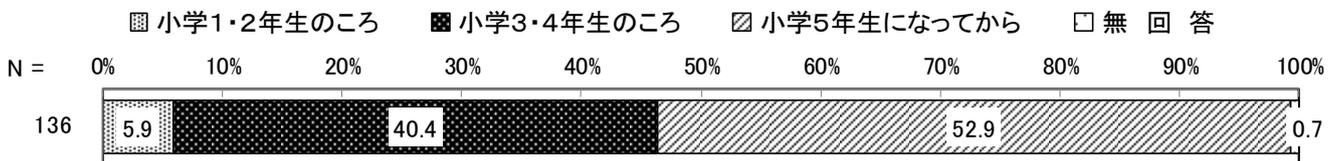
全体では、『わかる』（「いつもわかる」と「だいたいわかる」の計）が49.2%、『わからない』（「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」の計）が46.0%である。『わかる』は小学5年生が60.4%と多く、中学2年生と高校生等は40%前後となっている。



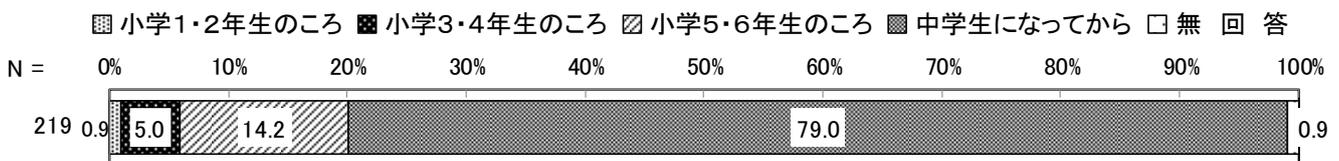
問 前問で「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

小学5年生は、「小学5年生になってから」が52.9%、「小学3・4年生のころ」が40.4%、中学2年生は「中学生になってから」が79.0%、高校生等は「高校生になってから」が58.9%とそれぞれ多くなっている。

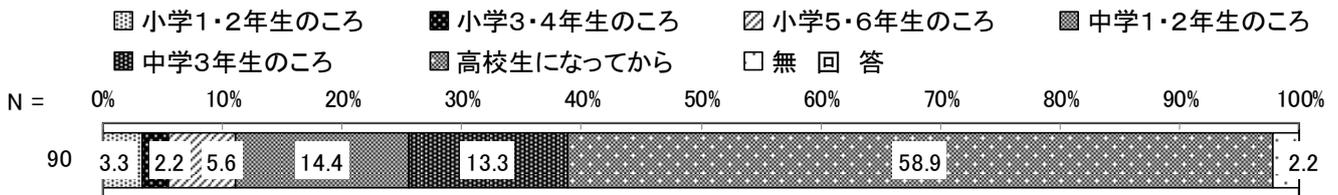
問12—1小学生・授業がわからなくなった時期〔%〕



問12—1中学生・授業がわからなくなった時期〔%〕



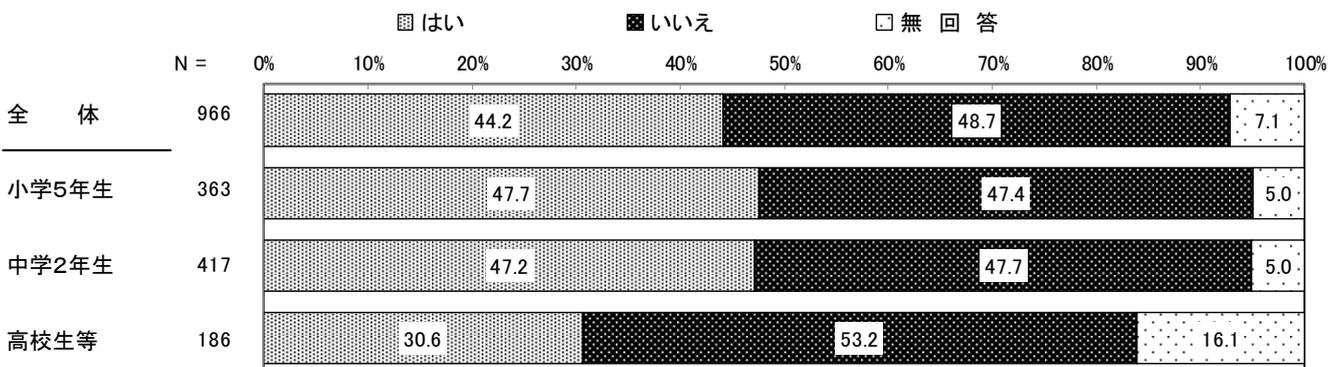
問12—1高校生・授業がわからなくなった時期〔%〕



問 将来、白河市に住みたいと思いますか。その理由もお聞かせください。

全体では、「いいえ」が48.7%、「はい」が44.2%である。高校生等は「はい」が30.6%と少なくなっている。住みたいと思う理由としては、「生まれた場所だから・地元だから」、「住み慣れている」、「好きだから」などの意見がみられる。また、住みたいと思わない理由としては、「希望する職業がない」「都会に住みたい・白河市以外に住んでみたい」「田舎だから・不便だから」などの意見がみられる。

問16白河市の定住意向〔%〕

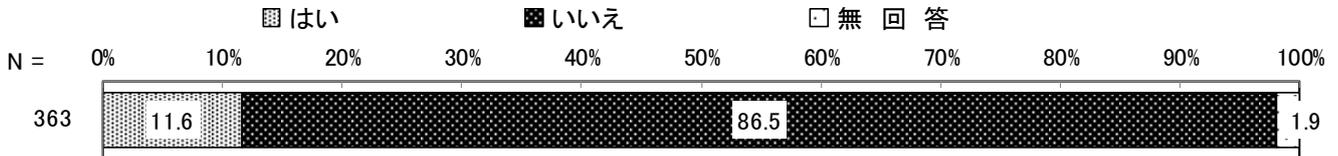


3.2 放課後の過ごし方

問 あなたは、放課後児童クラブで過ごしていますか。(小学生のみ)

11.6%が放課後児童クラブで過ごしていると回答している。

問14小学生・放課後児童クラブの利用[%]



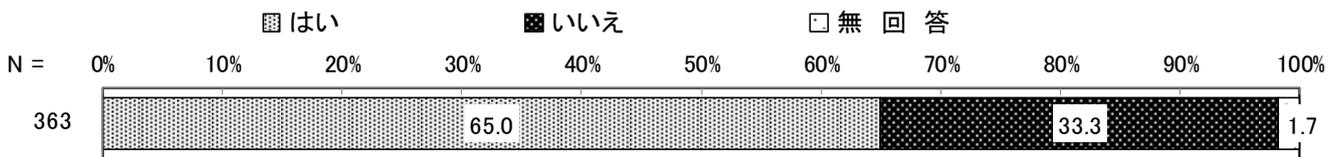
問 あなたは、習いごとをしていますか。(小学生のみ)

65.0%が習い事をしていると回答している。

保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「いいえ」が50.0%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「いいえ」が64.0%となっている。

問15小学生・習い事[%]

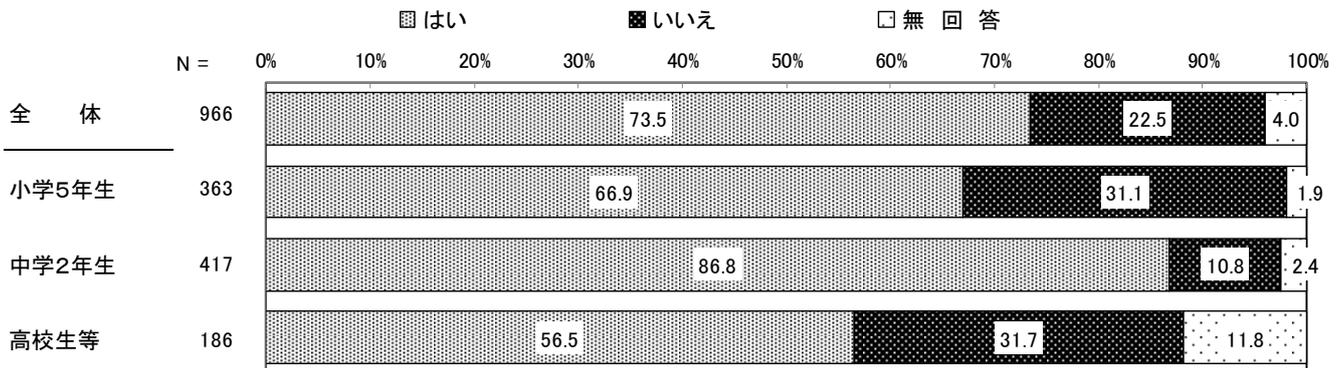


問 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

全体では、「はい」が73.5%と多く、「いいえ」が22.5%である。中学2年生は「はい」が86.8%と多くなっている。

生活困窮別では、困窮家庭で「いいえ」が42.4%となっている。

問17地域のスポーツ・文化クラブ、部活動の参加[%]



3.3 今の気持ち・思っていることなど

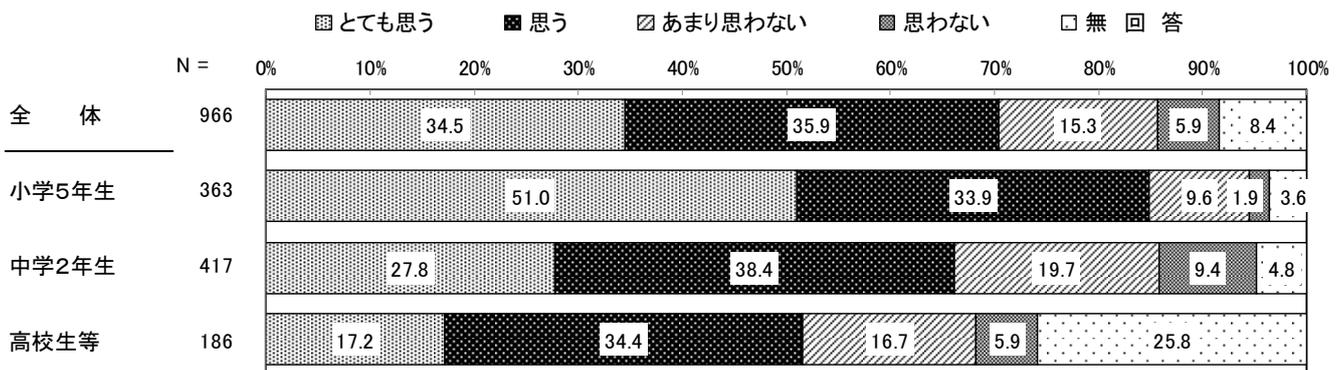
問 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

①がんばればむくわれる、がんばれば、よいことがある

全体では、『思う』（「とても思う」と「思う」の計、以下同様）が 70.4%と多く、『思わない』（「あまり思わない」と「思わない」の計、以下同様）が 21.2%である。年代が上がるると『思う』が少なくなり、高校生等で 51.6%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で『思わない』が 35.6%となっている。

問27思いや気持ち・がんばればむくわれる[%]

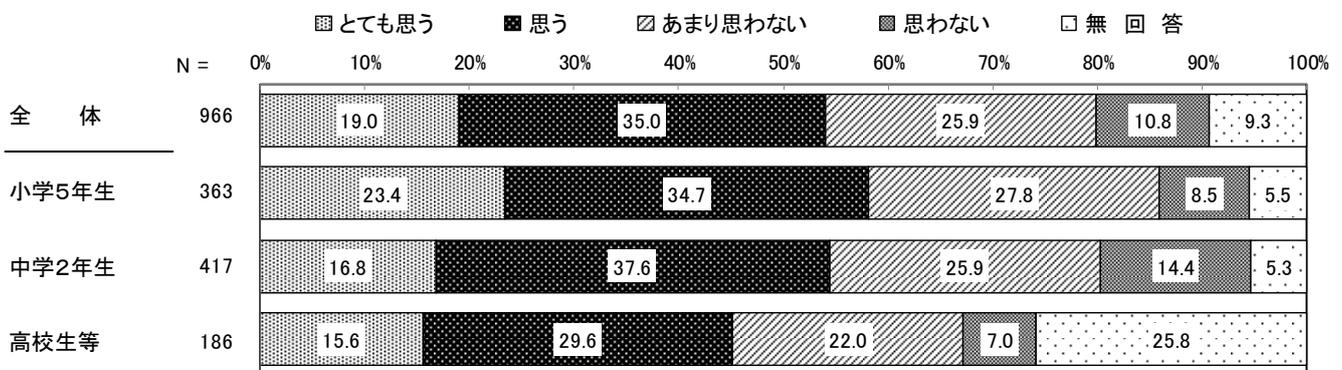


②自分は価値のある人間だ

全体では、『思う』が 54.0%と多く、『思わない』が 36.7%である。年代が上がるると『思う』が少なくなり、高校生等で 45.2%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で『思わない』が 54.3%となっている。

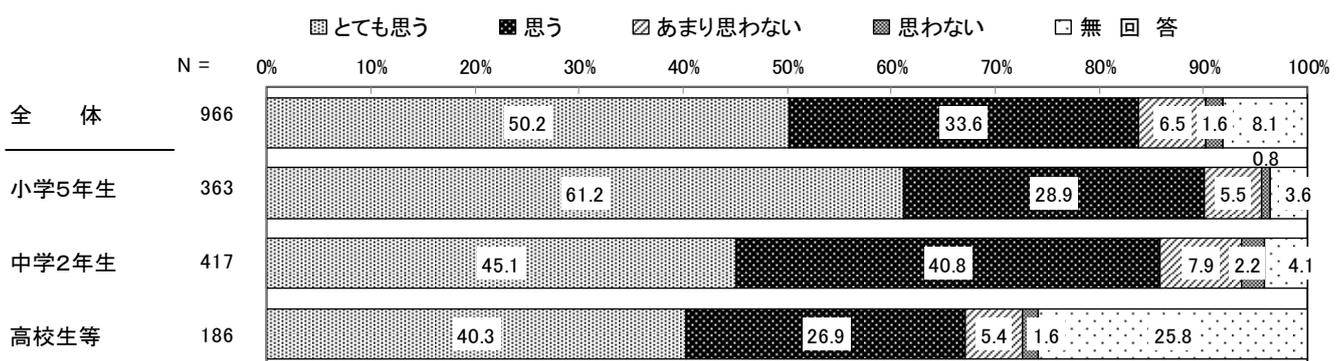
問27思いや気持ち・自分は価値のある人間だ[%]



③自分は家族に大事にされている

全体では、『思う』が 83.8%と多く、『思わない』が 8.1%である。年代が上がるると『思う』が少なくなり、高校生等で 67.2%となっている。

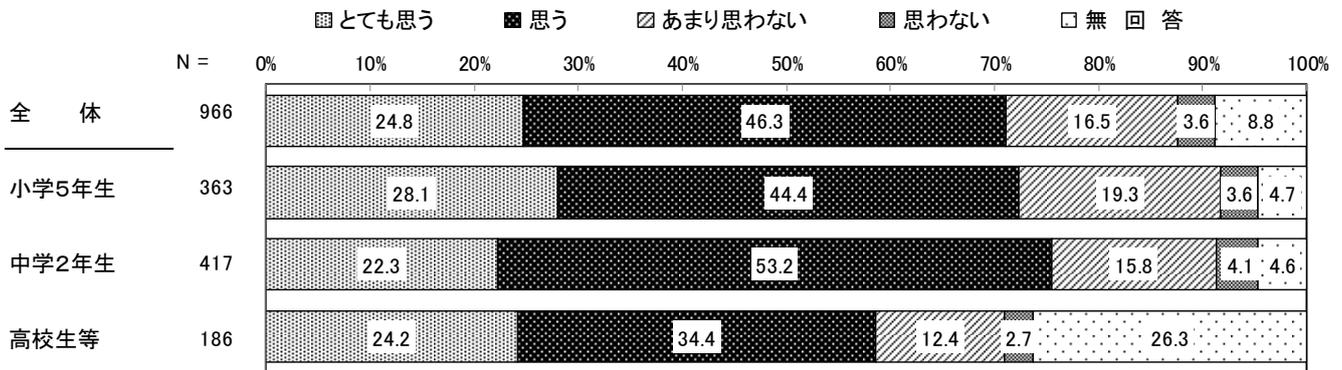
問27思いや気持ち・自分は家族に大事にされている[%]



④自分は友だちに好かれている

全体では、『思う』が 71.1%と多く、『思わない』が 20.1%である。年代が上がると『思う』が少なくなり、高校生等で 58.6%となっている。

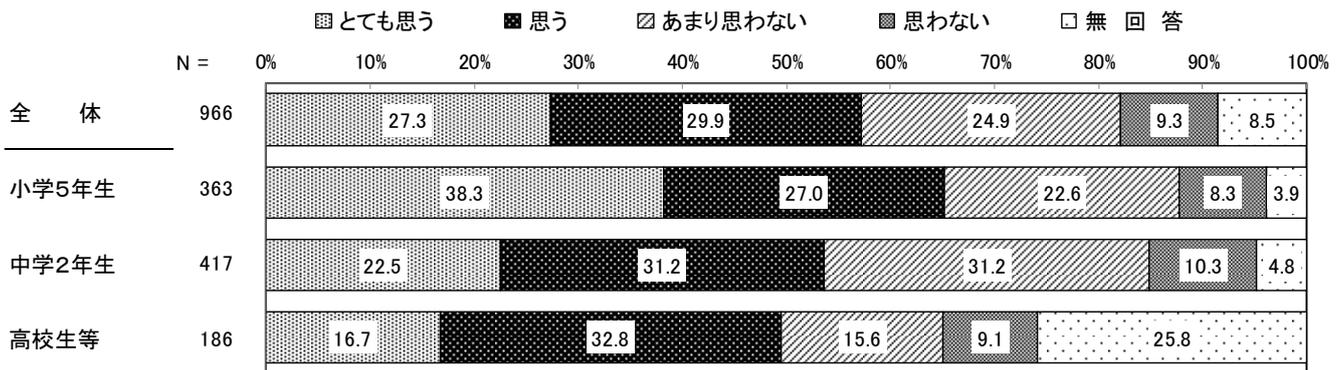
問27思いや気持ち・自分は友だちに好かれている[%]



⑤自分の将来が楽しみだ

全体では、『思う』が 57.2%と多く、『思わない』が 34.2%である。年代が上がると『思う』が少なくなり、高校生等で 49.5%となっている。

問27思いや気持ち・自分の将来が楽しみだ[%]

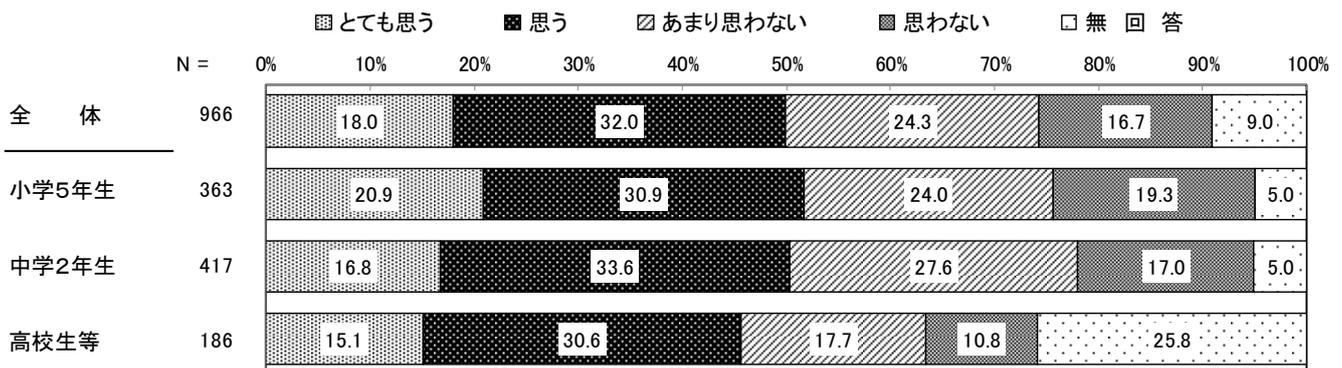


⑥自分のことが好きだ

全体では、『思う』が 50.0%、『思わない』が 41.0%である。高校生等で『思わない』が 28.5%となっている。

生活困窮別では、困窮家庭で『思わない』が 57.6%となっている。

問27思いや気持ち・自分のことが好きだ[%]

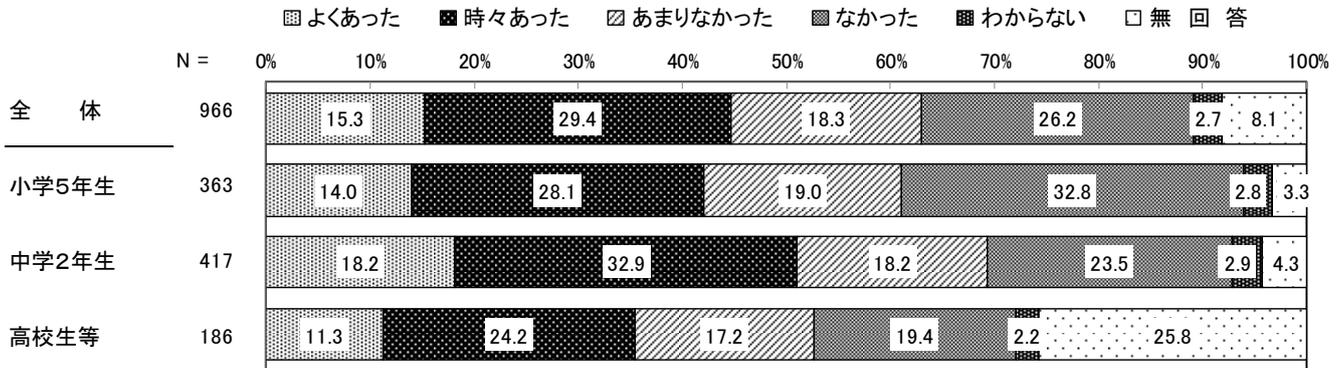


問 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。もっとも近いものに○をつけてください。

①学校に行きたくないと思った

全体では、『あった』（「よくあった」と「時々あった」の計）が 44.7%、『なかった』（「あまりなかった」と「なかった」の合計）が 44.5%で同程度である。中学2年生は『あった』が 50%を超えている。

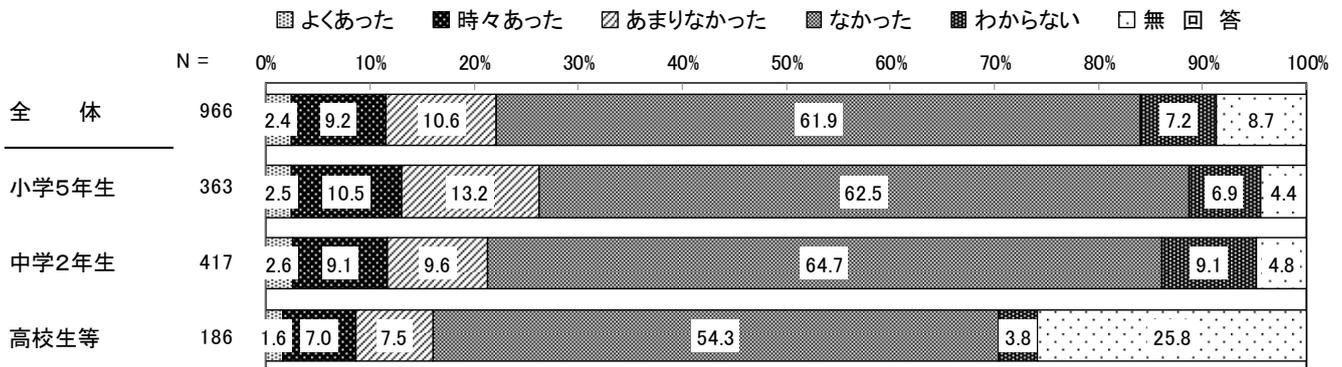
問28これまでのこと・学校に行きたくないと思った[%]



②いじめられた

全体では、『なかった』が 72.5%と多く、『あった』が 11.6%である。高校生等は『なかった』が 61.8%と少なくなっている。

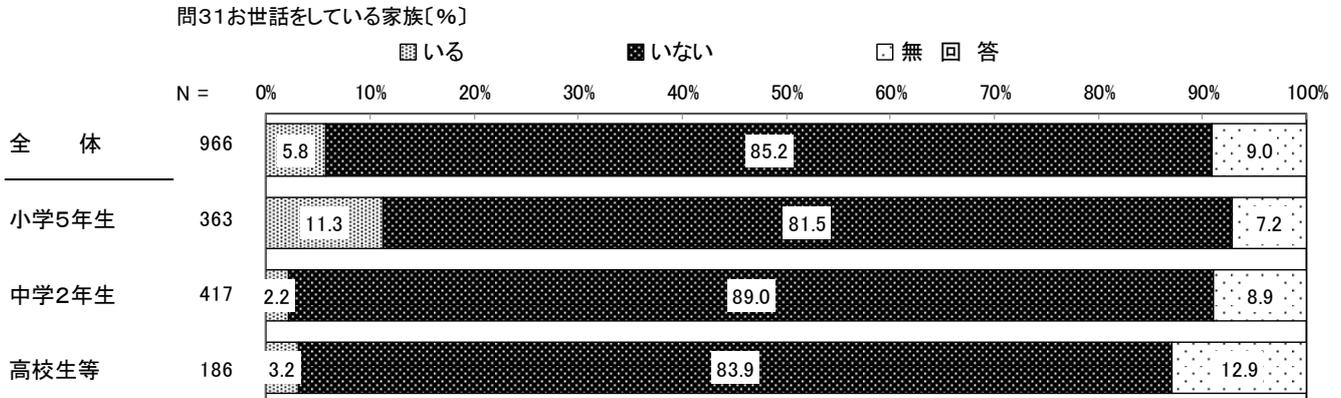
問28これまでのこと・いじめられた[%]



3.4 家族の世話

問 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)

全体では、5.8%が「いる」と回答している。小学5年生は「いる」が11.3%となっている。生活困窮別では、困窮家庭で「いない」が69.5%となっている。

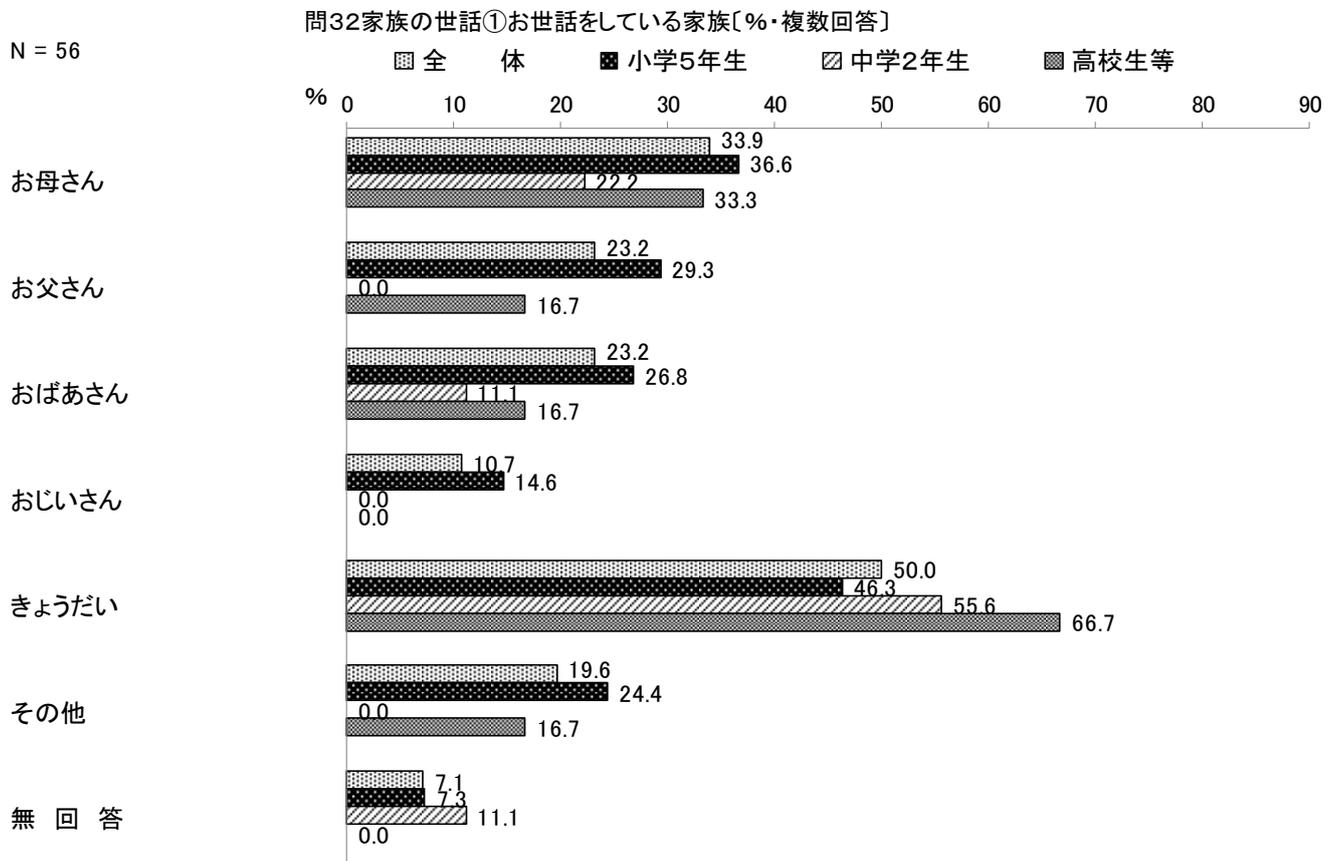


問 前問で「いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

①あなたがお世話をしている人

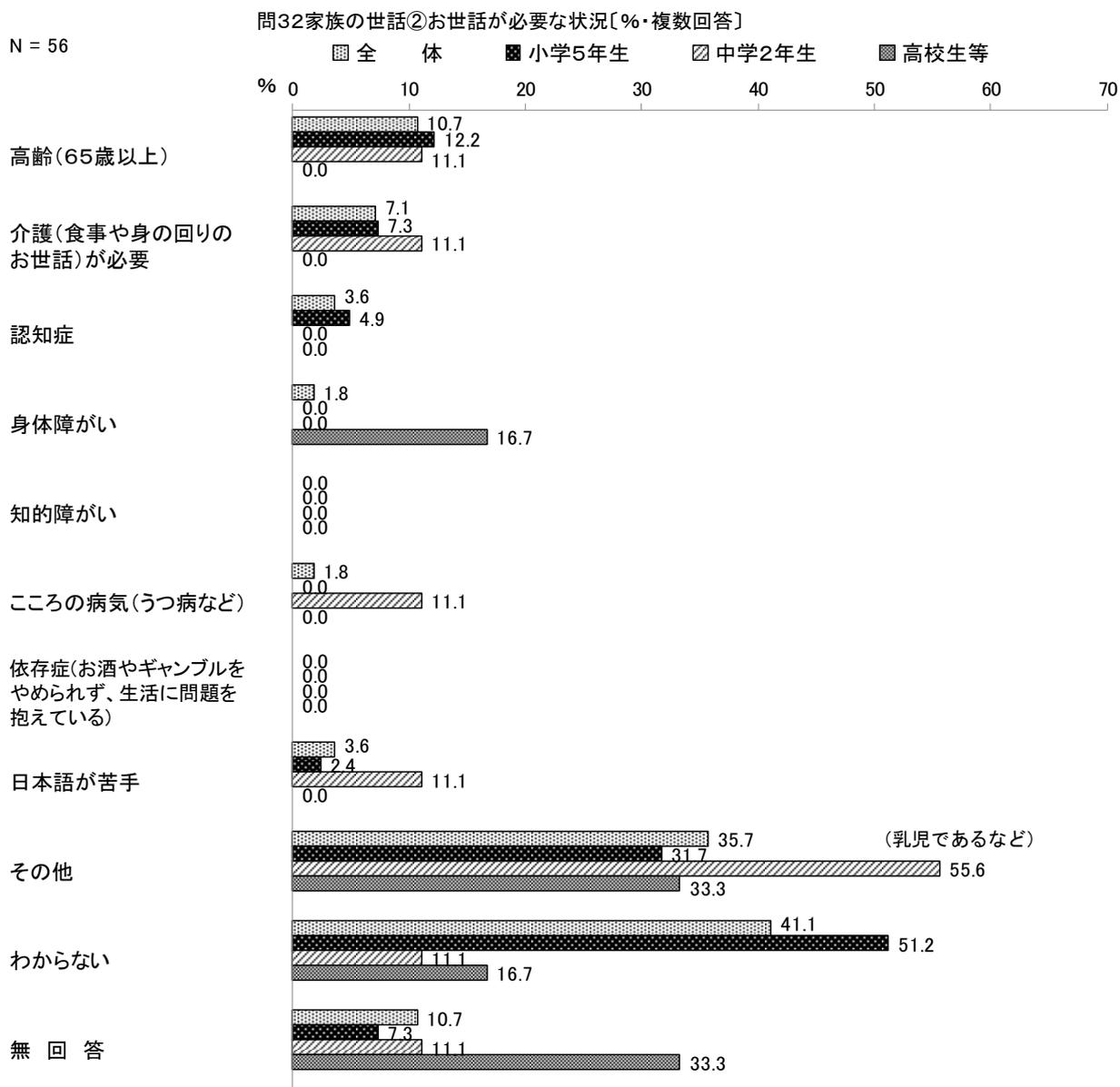
全体では、「きょうだい」が50.0%、「お母さん」が33.9%、「お父さん」と「おばあさん」がともに23.2%、「おじいさん」が10.7%である。年代が上になると「きょうだい」が多くなっている。

保護者の就業状況別では、共働き世帯で「きょうだい」が61.5%となっている。



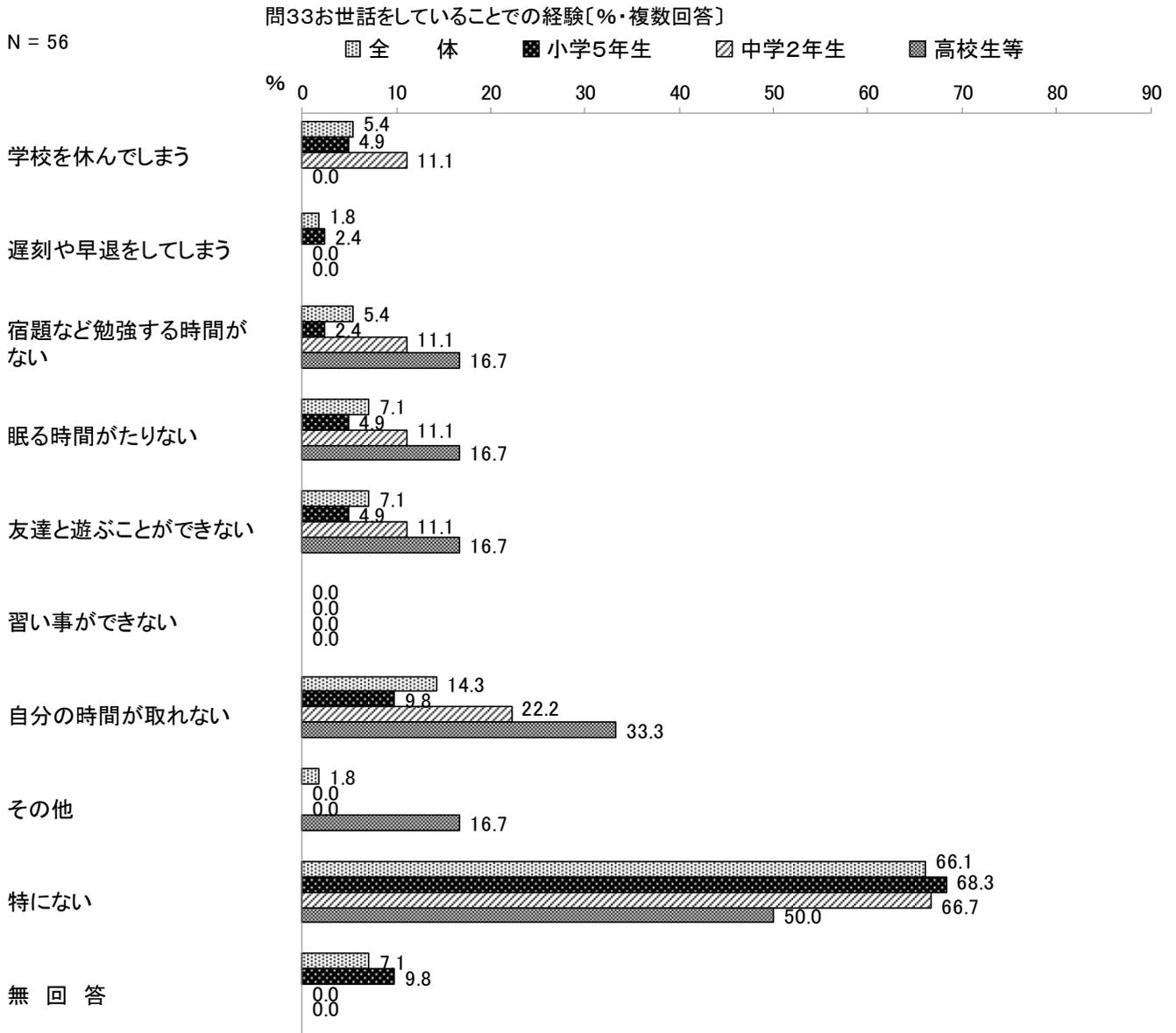
②お世話をしている人の状況について教えてください。

全体では、「高齢（65歳以上）」が10.7%、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」が7.1%、「認知症」と「日本語が苦手」がともに3.6%などが回答されており、「わからない」が41.1%、「その他」が35.7%となっている。



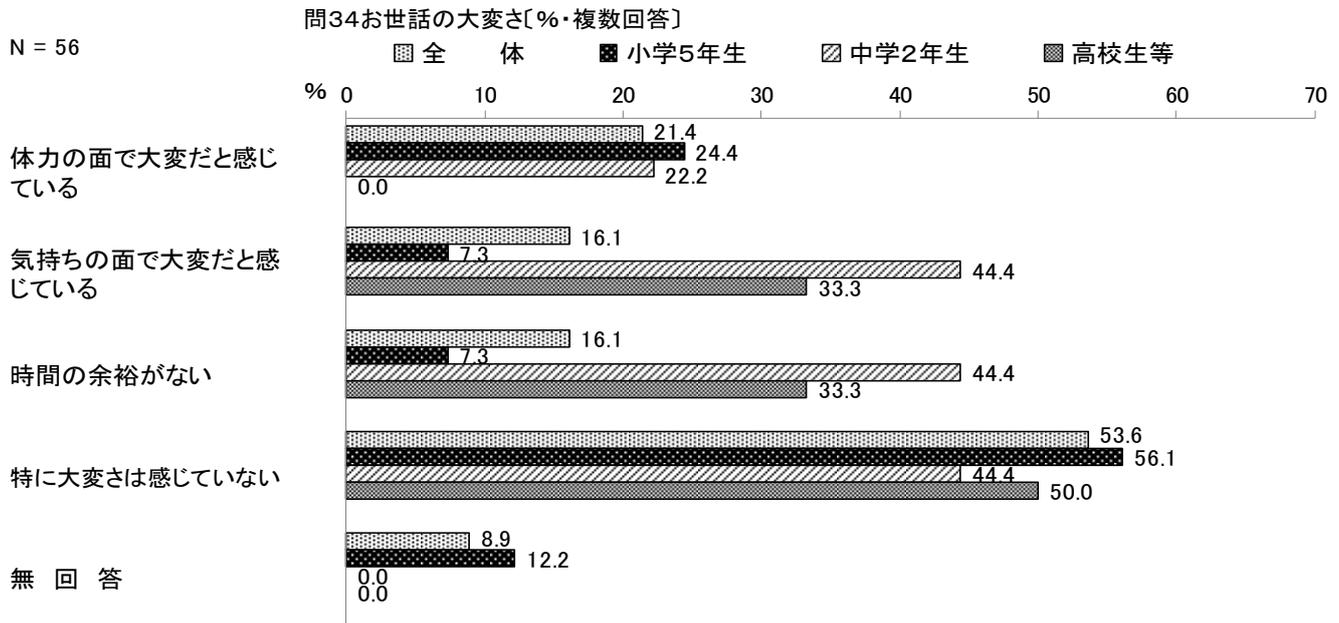
問 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

全体では、「特にない」が66.1%と多く、「自分の時間が取れない」が14.3%、「友達と遊ぶことができない」と「眠る時間がたりない」がともに7.1%となっている。



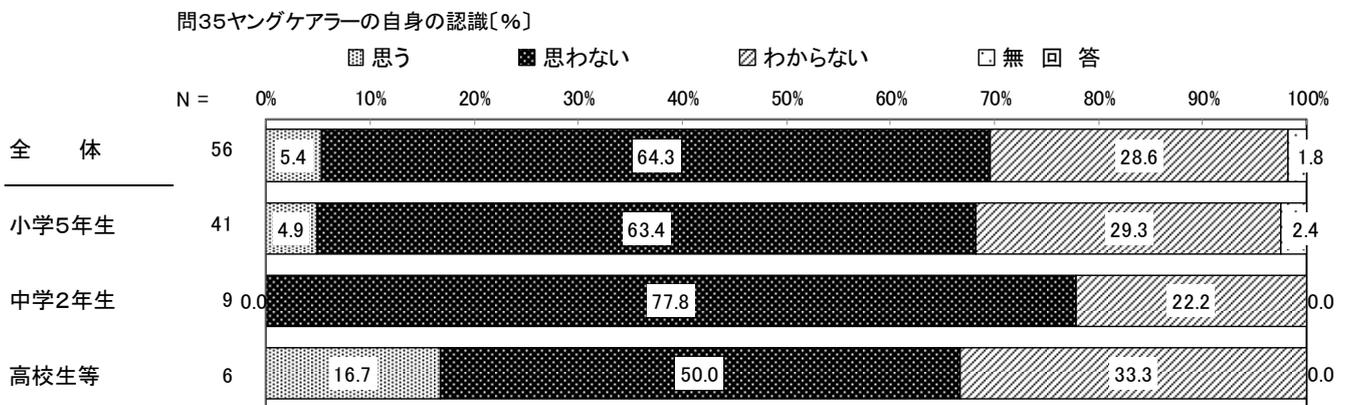
問 お世話をすることに大変さを感じていますか。

全体では、「特に大変さは感じていない」が 53.6%と多く、「体力の面で大変だと感じている」が 21.4%、「気持ちの面で大変だと感じている」と「時間の余裕がない」がともに 16.1%である。



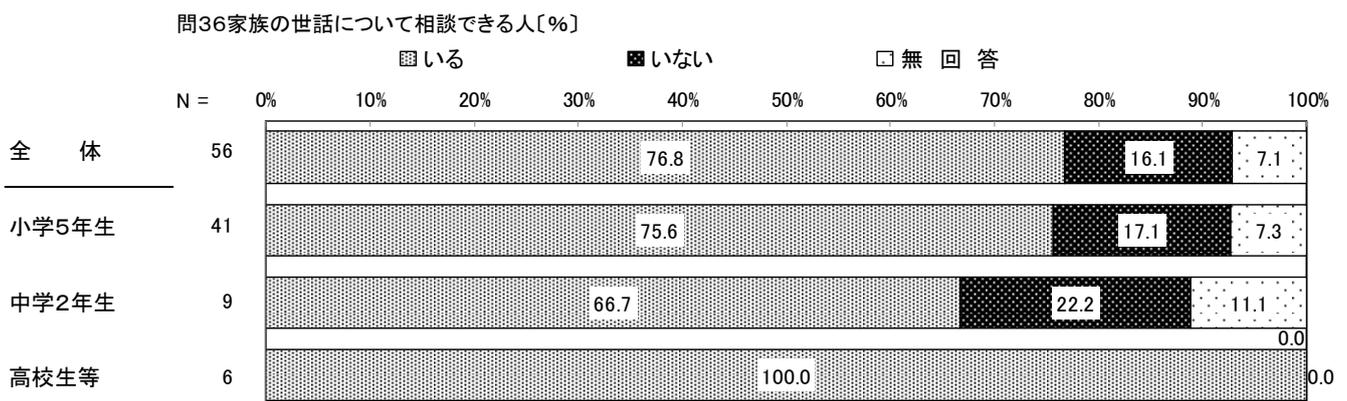
問 大人に代わって家事・家族の世話などをいつも行っている子どものことをヤングケアラーといいますが、あなたは自分がヤングケアラーだと思いますか。

全体では、「思わない」が 64.3%、「わからない」が 28.6%で、「思う」は 5.4%である。中学2年生は「思わない」、高校生等は「思う」が他の年代より多くなっている。



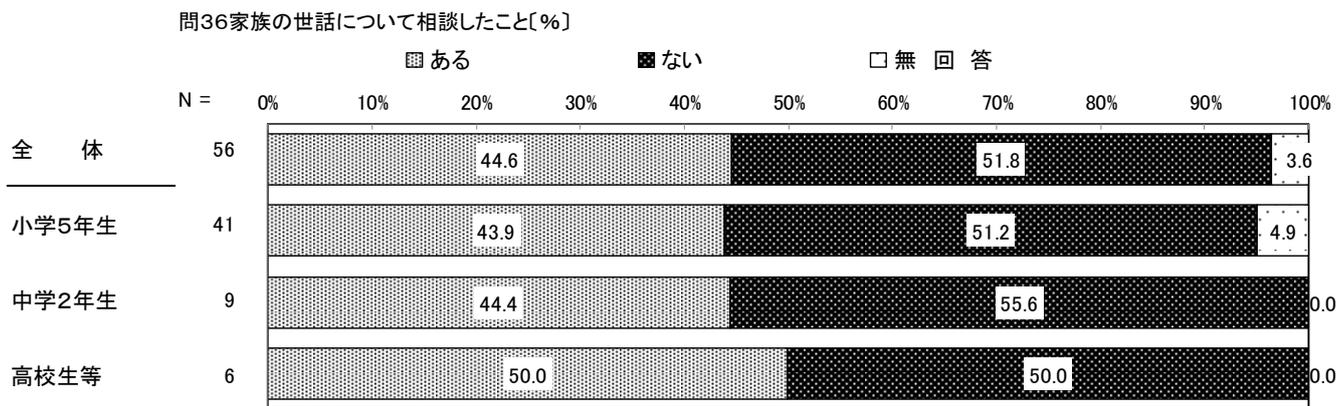
問 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

全体では、76.8%が「いる」と回答している。



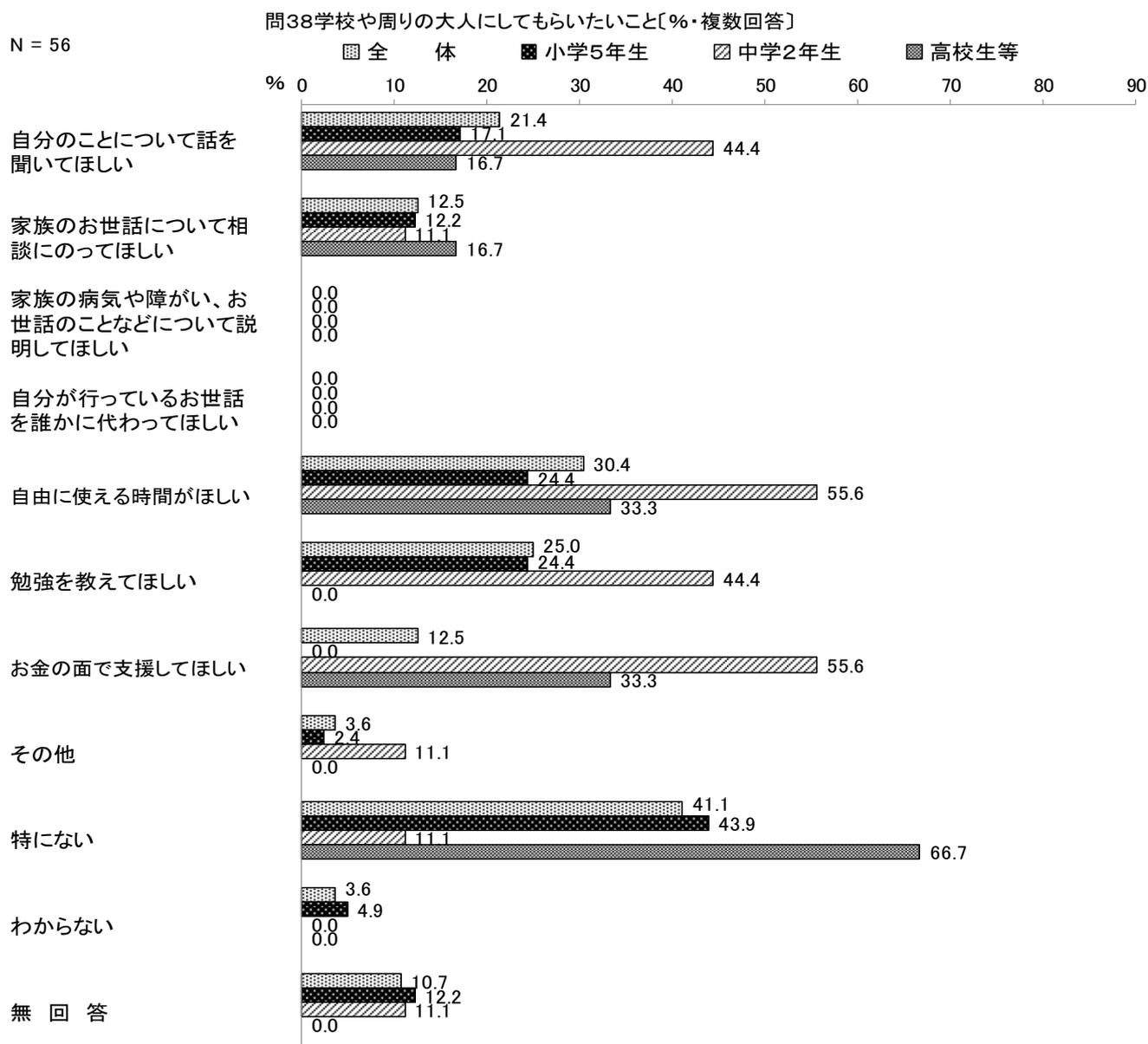
問 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。

全体では、44.6%が「ある」と回答している。



問 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。

全体では、「特にない」が41.1%と多く、次いで「自由に使える時間がほしい」が30.4%、「勉強を教えてほしい」が25.0%、「自分のことについて話を聞いてほしい」が21.4%である。

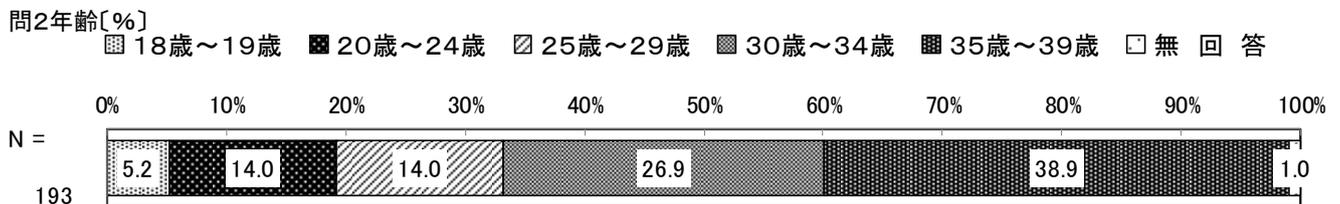


4. 若年調査

4.1 回答者の状況

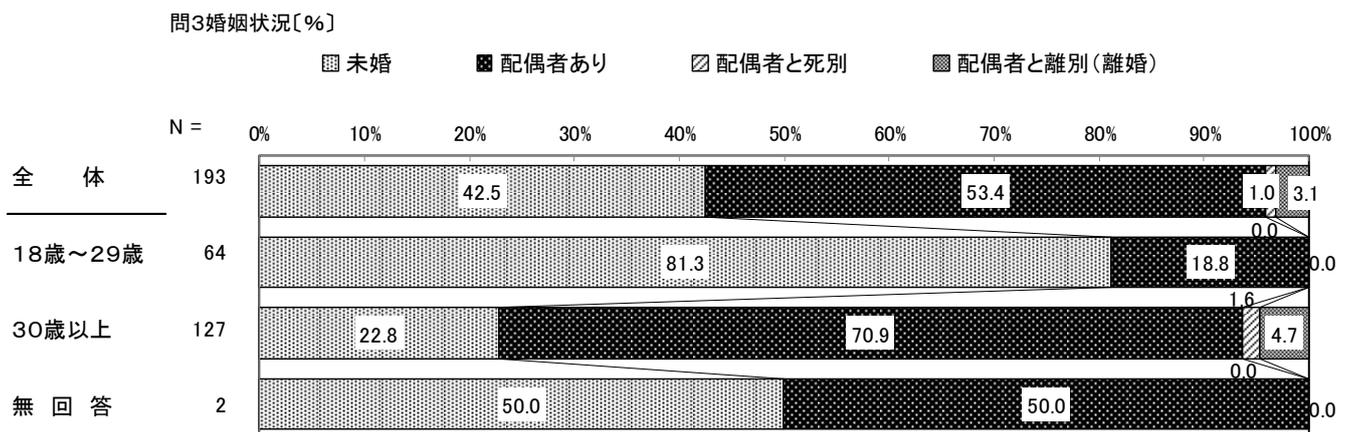
問 令和6年3月1日時点のあなたの年齢についてお答えください。

「35歳～39歳」が38.9%、「30歳～34歳」が26.9%、「20歳～24歳」と「25歳～29歳」がともに14.0%、「18歳～19歳」が5.2%である。



問 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

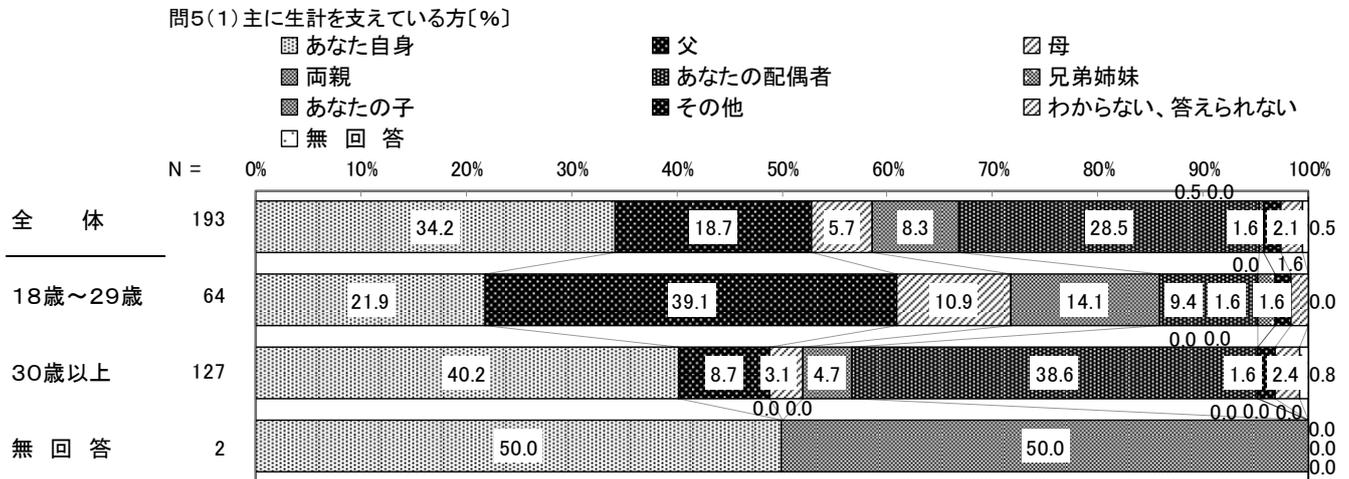
全体では、「配偶者あり」が53.4%と多く、「未婚」が42.5%、「配偶者と離別（離婚）」が3.1%、「配偶者と死別」が1.0%である。



問 あなたの家の生計について、以下の（１）と（２）のそれぞれにお答えください。

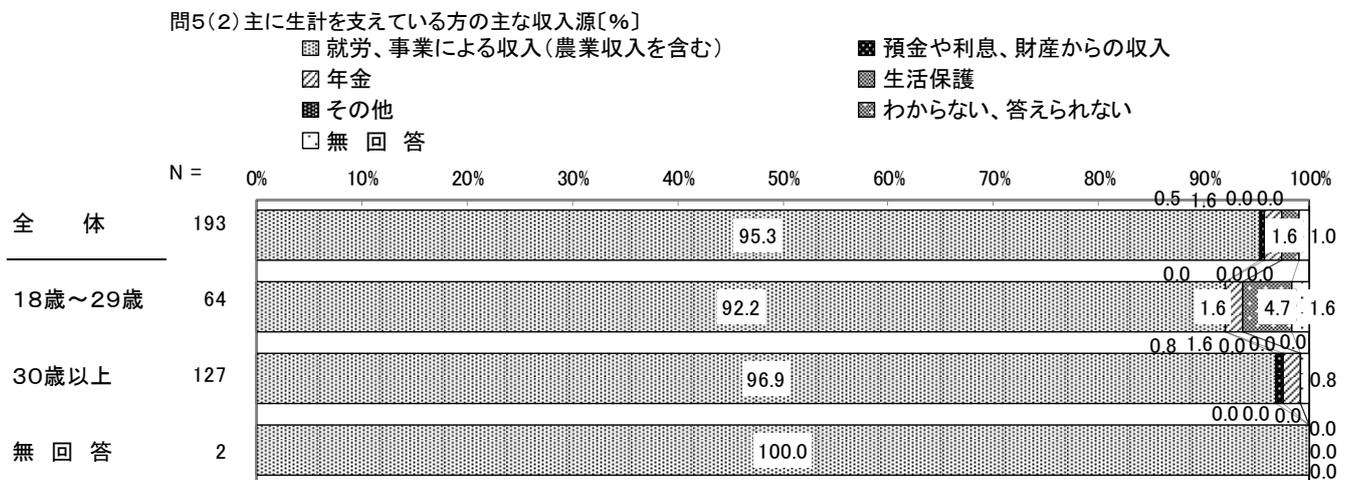
（１）生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。

全体では、「あなた自身」が 34.2%、「あなたの配偶者」が 28.5%、「父」が 18.7%、「両親」が 8.3%、「母」が 5.7%である。18～29 歳は「父」が 39.1%、30 歳以上は「あなた自身」と「あなたの配偶者」がともに 40%前後と多くなっている。



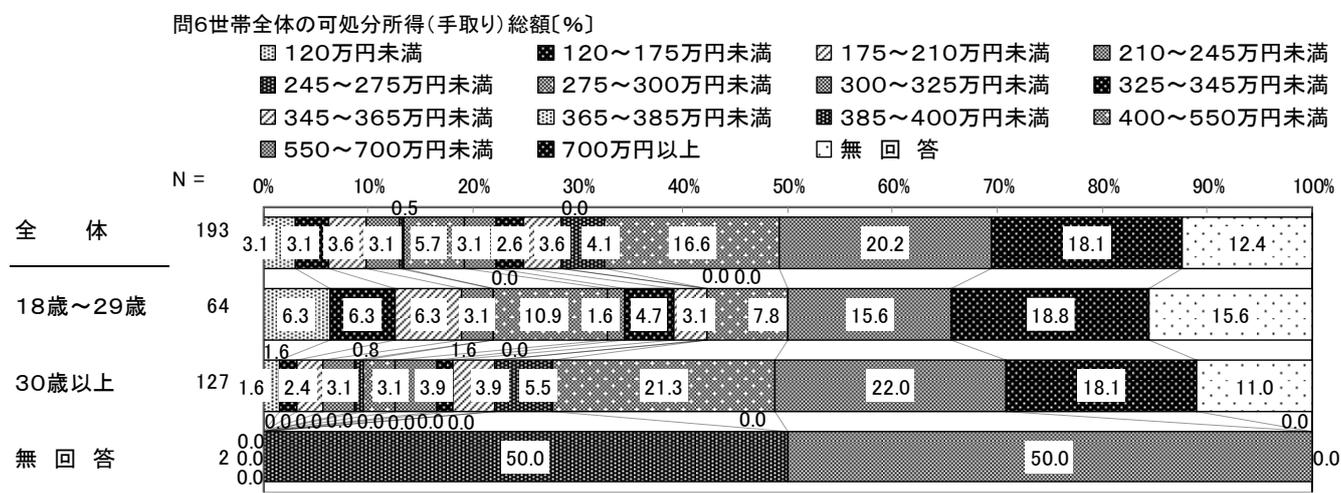
（２）主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。

全体では、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が 95.3%とほとんどである。



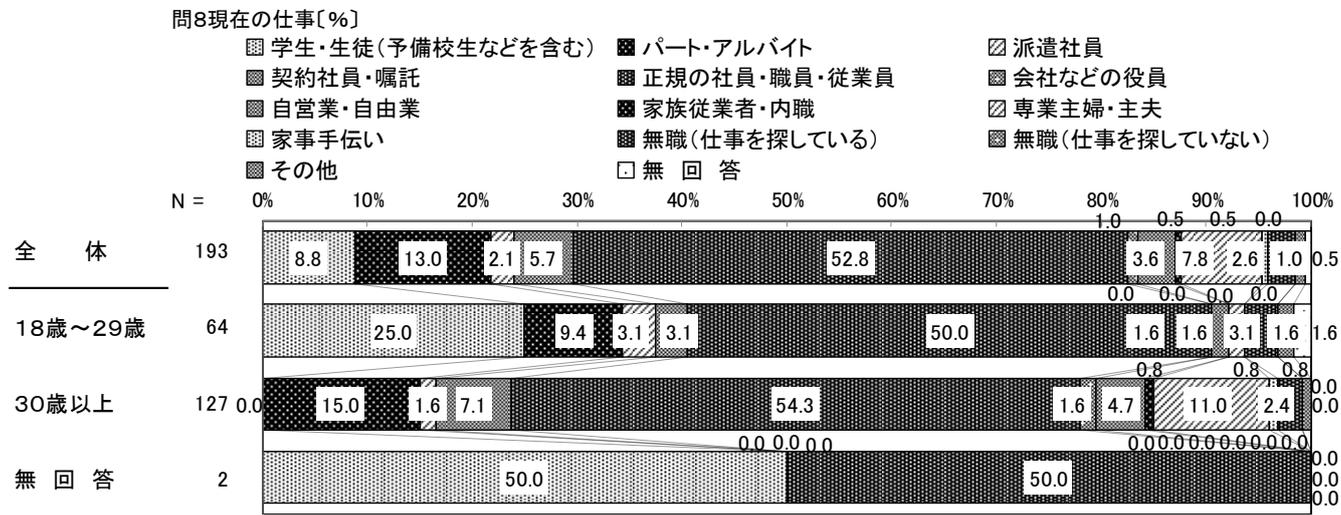
問 令和5年（2023年1月～12月）のあなたの世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。就労による所得（会社員の方等は住民税を引く）に加え、児童手当・児童扶養手当等・雇用保険等の支給額や、親族等からの仕送り等を足した金額でお答えください。

全体では、「550～700万円未満」が20.2%、「700万円以上」が18.1%、「400～550万円未満」が16.6%と多くなっている。30歳以上で「400～550万円未満」が21.3%と18～29歳の7.8%より多くなっている。



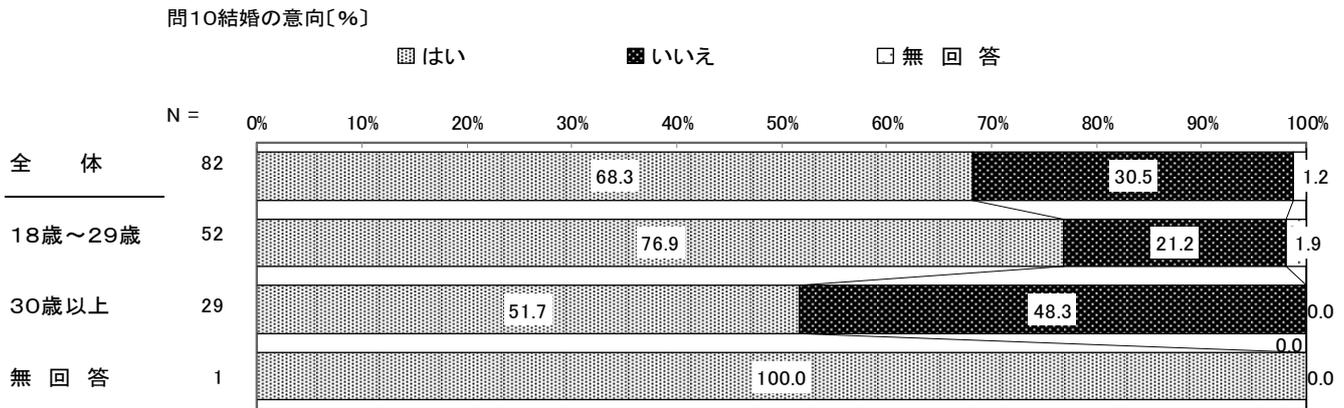
問 あなたの現在の仕事をお答えください。

全体では、「正規の社員・職員・従業員」が52.8%と多く、「パート・アルバイト」が13.0%、「学生・生徒（予備校生などを含む）」が8.8%、「専業主婦・主夫」が7.8%である。18～29歳は「学生・生徒（予備校生などを含む）」が25.0%となっている。



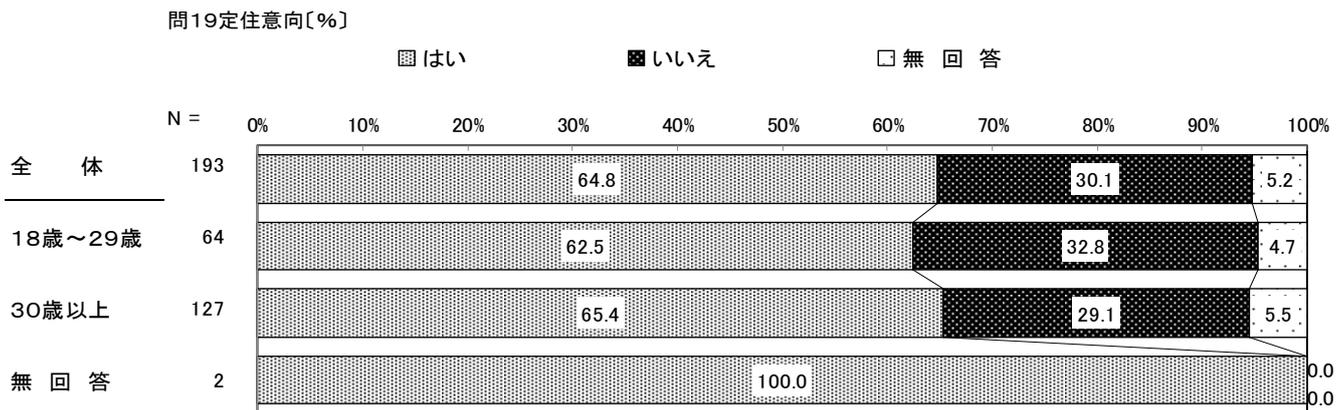
問 【未婚の方】あなたは、将来、結婚したいと思いますか。

全体では、68.3%が「はい」と回答している。30歳以上は「はい」が51.7%と少なくなっている。



問 あなたは今後も、白河市に住みたいと思いますか。その理由をお書きください。

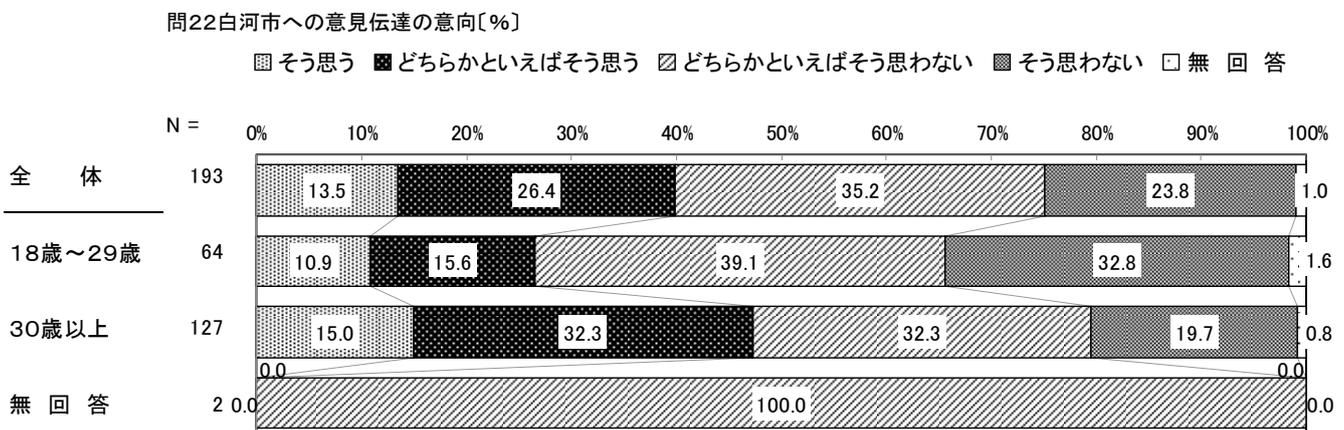
全体では、64.8%が「はい」と回答し、市内に住みたい理由は83.2%、市外に住みたい理由は79.3%が記入している。内容としては、「市内」では「持ち家がある」、「職場・学校」などの意見がみられる。「市外」では「利便性が悪い」、「市民税が高い」などの意見がみられる。



問 あなたは、白河市の制度や施策について、自分の考えを市に伝えたいと思いますか。

全体では、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計）が59.0%と多く、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）は39.9%である。

18～29歳は『思う』が26.5%と30歳以上より少なくなっている。



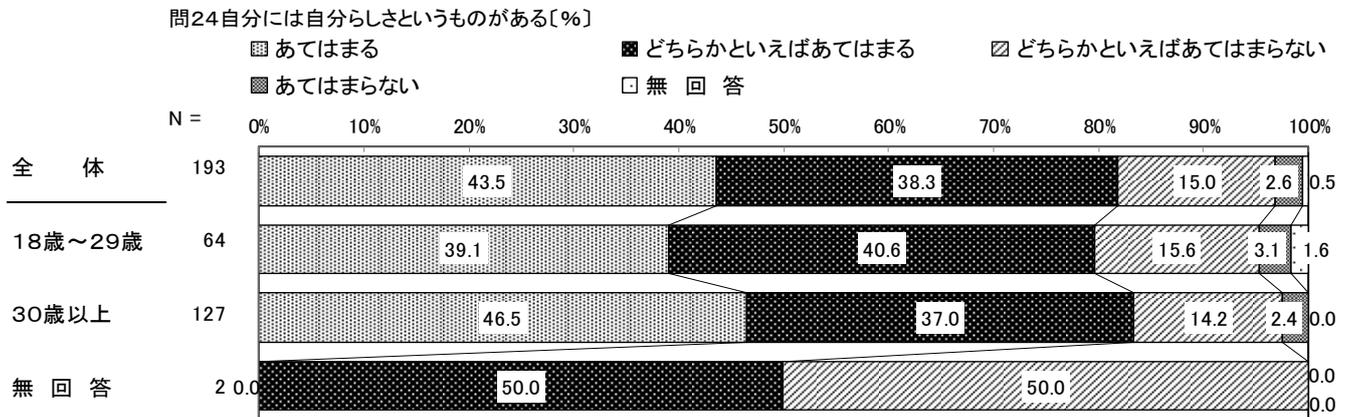
『思わない』理由は、「市に意見を伝えても反映されないと思うから」が58.8%、「市の制度や施策について知らないから」が31.6%などとなっている。

4.2 今の気持ちや状況

問 あなた自身について、次の項目にどのくらいあてはまりますか。

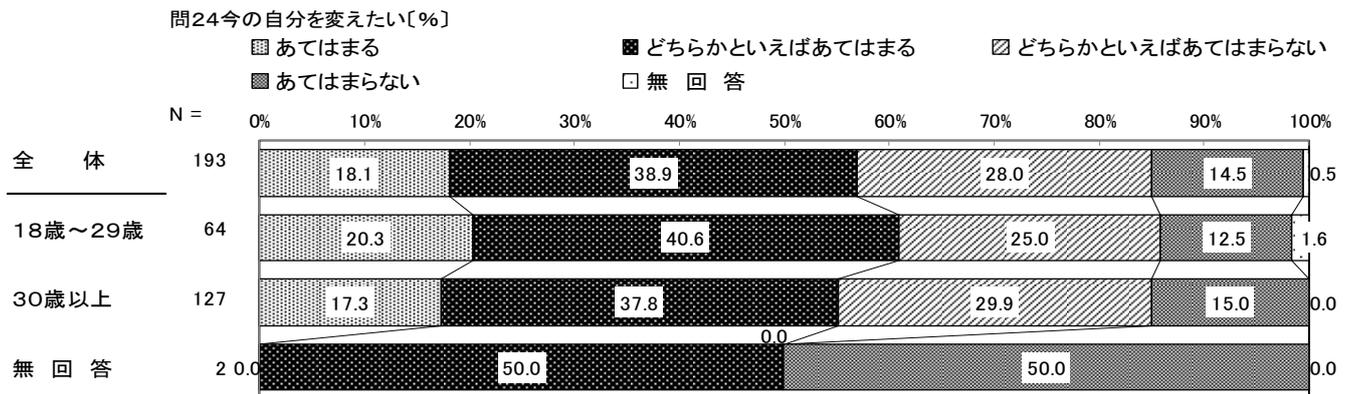
(1)自分には自分らしさというものがある

全体では、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の計、以下同様）が 81.8%と多くを占め、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の計、以下同様）が 17.6%である。



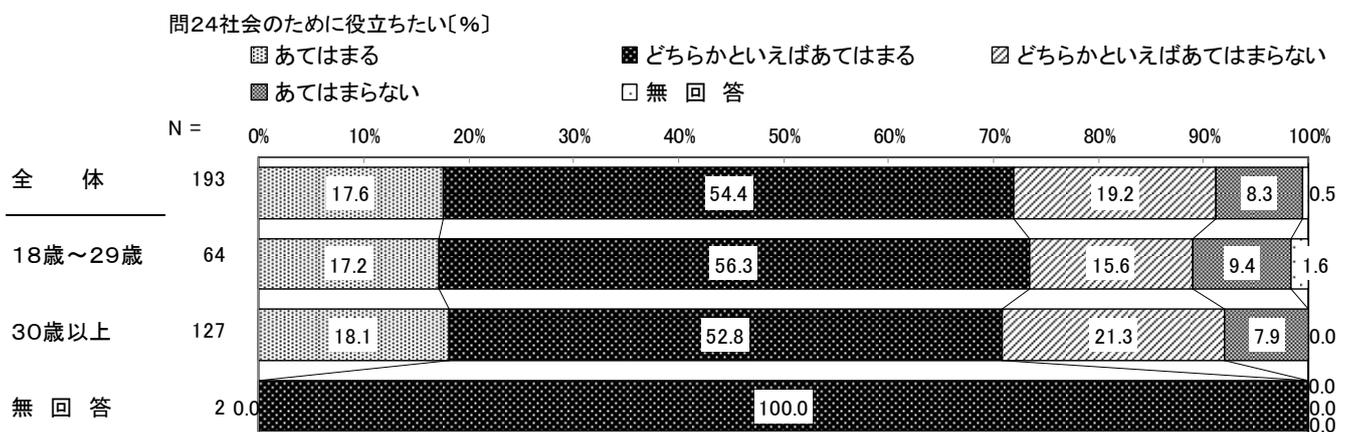
(2)今の自分を変えたい

全体では、『あてはまる』が 57.0%と多く、『あてはまらない』が 42.5%である。



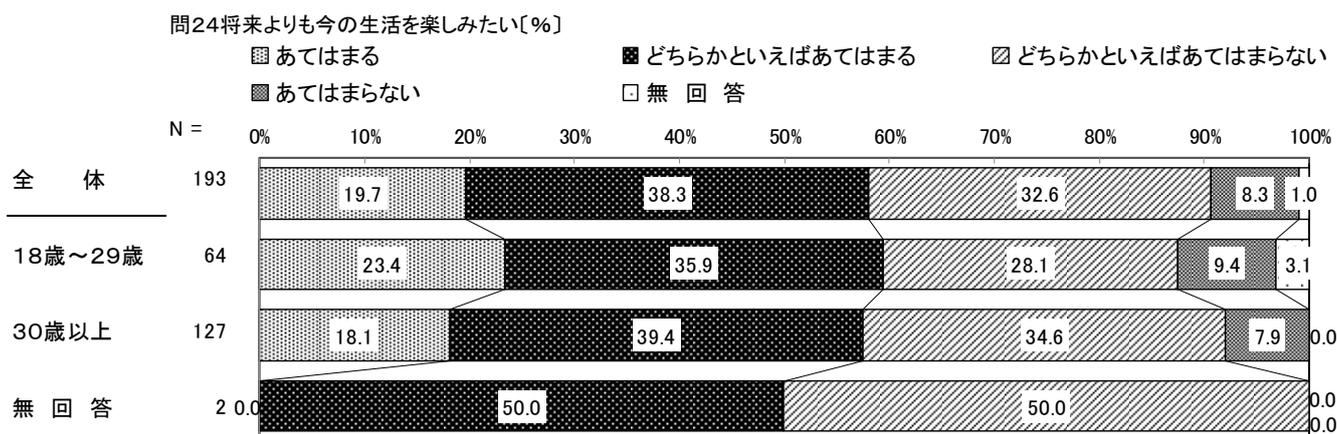
(3)社会のために役立ちたい

全体では、『あてはまる』が 72.0%と多く、『あてはまらない』が 27.5%である。



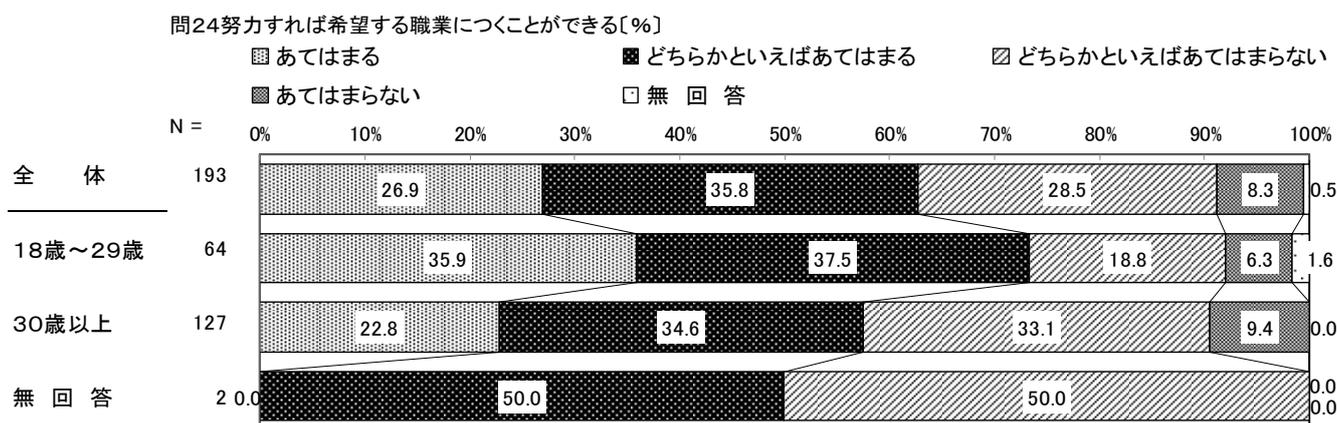
(4) 将来よりも今の生活を楽しみたい

全体では、『あてはまる』が 58.0%と多く、『あてはまらない』が 40.9%である。



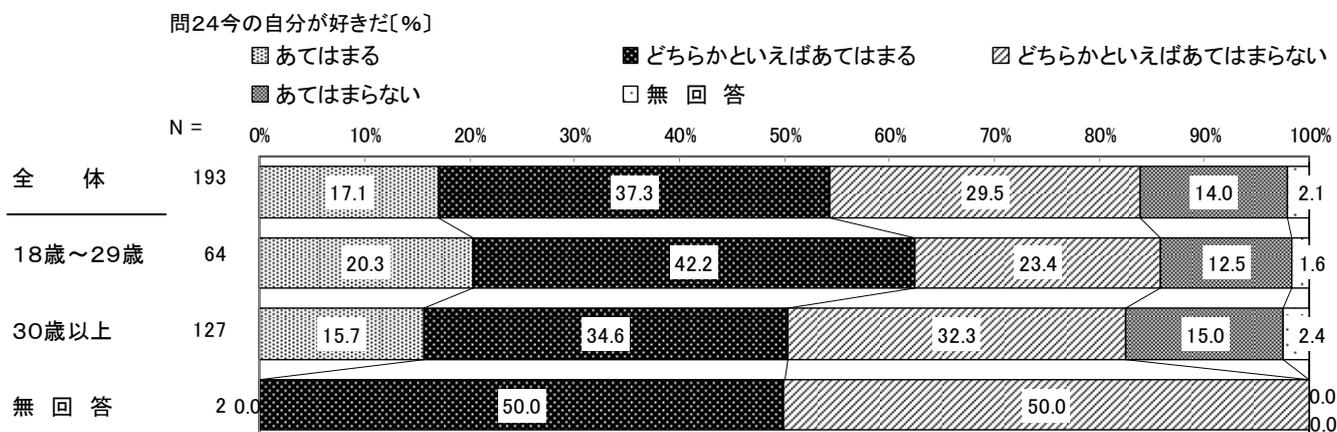
(5) 努力すれば希望する職業につくことができる

全体では、『あてはまる』が 62.7%と多く、『あてはまらない』が 36.8%である。18～29歳は『あてはまる』が 73.4%と多くなっている。



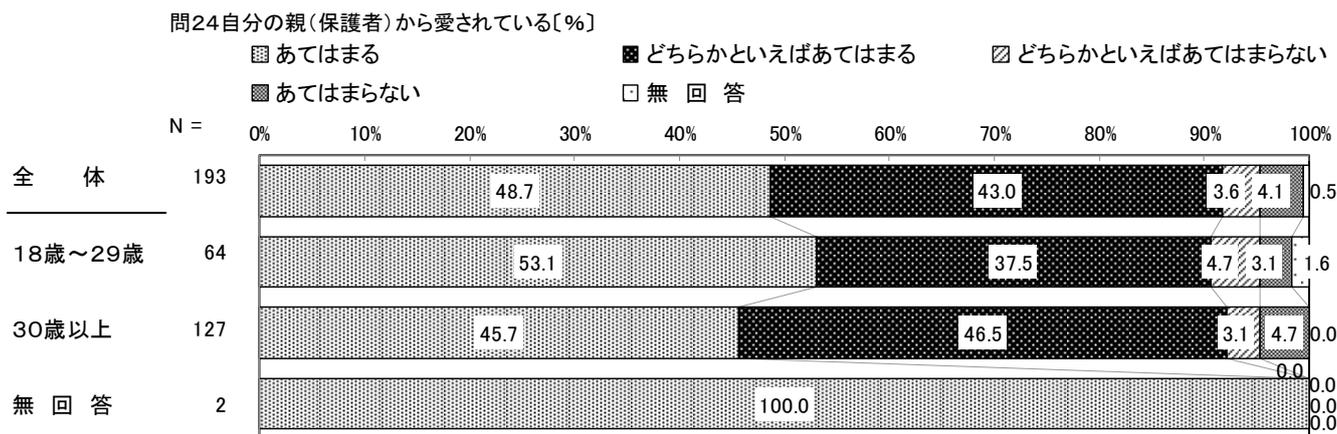
(6) 今の自分が好きだ

全体では、『あてはまる』が 54.4%、『あてはまらない』が 43.5%である。18～29歳は『あてはまる』が 62.5%と30歳以上より多くなっている。



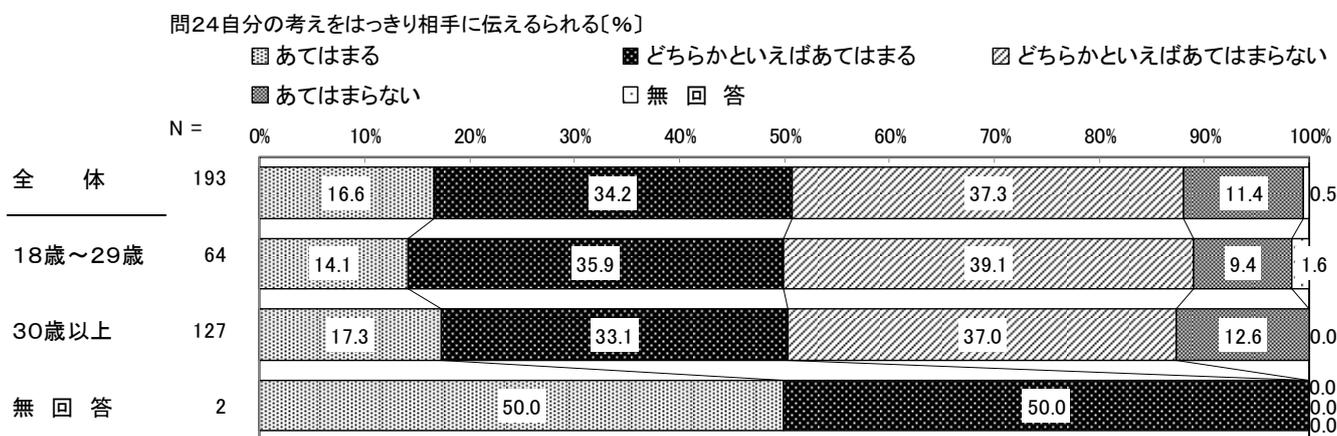
(7)自分の親(保護者)から愛されている

全体では、『あてはまる』が91.7%とほとんどである。



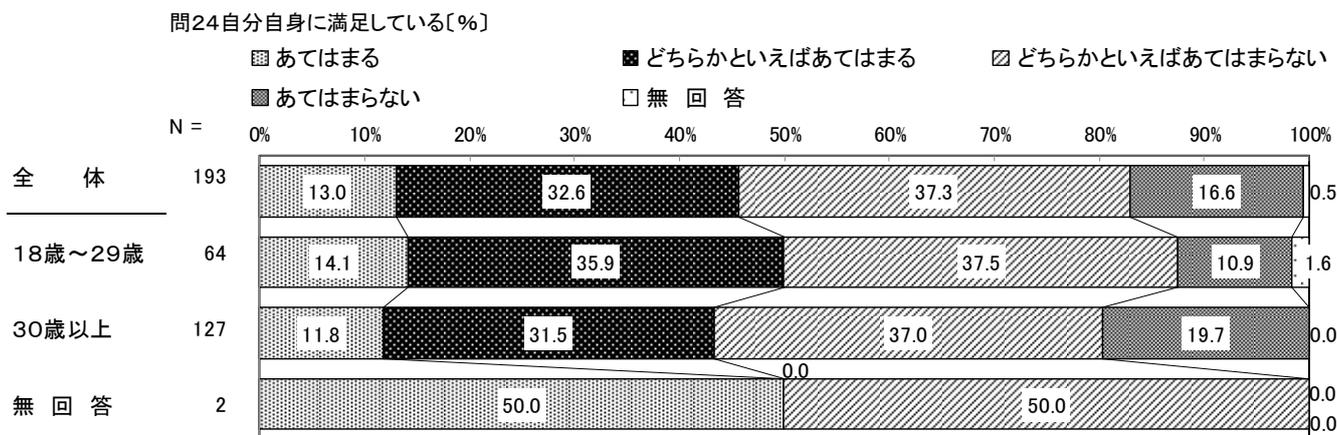
(8)自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

全体では、『あてはまる』が50.8%、『あてはまらない』が48.7%と同程度である。



(9)自分自身に満足している

全体では、『あてはまらない』が53.9%、『あてはまる』が45.6%である。

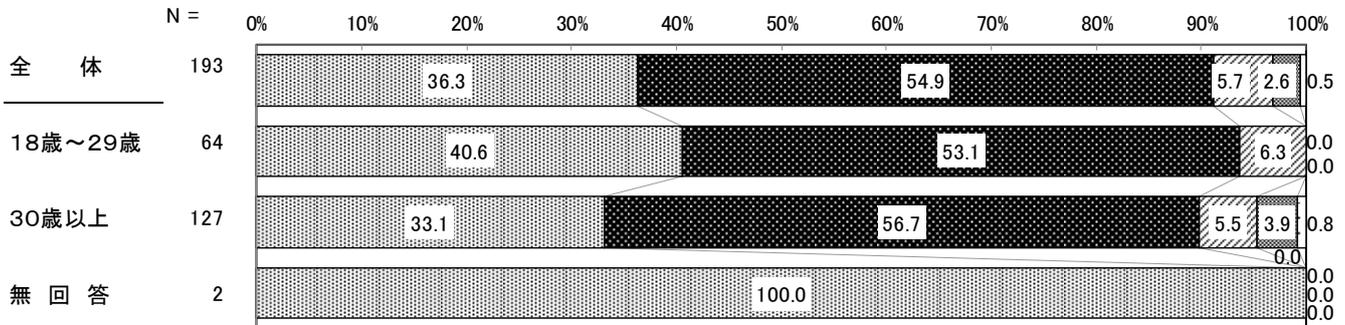


問 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。

全体では、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の計、以下同様）が91.2%とほとんどである。

問25自分が幸せだと思う【%】

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ▨ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない □ 無 回 答



問 あなたは、自分の将来について希望を持っていますか。最も近いものを選んでください。

全体では、『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」の計）が69.0%、『希望がない』（「どちらかといえば希望がない」と「希望がない」の計、以下同様）が29.5%である。

30歳以上は『希望がない』が34.6%と18～29歳の20.3%より多くなっている。

問26の将来に希望を持っている【%】

■ 希望がある ■ どちらかといえば希望がある ▨ どちらかといえば希望がない ■ 希望がない □ 無 回 答

